

2011—2012

ワイズメンズクラブ国際協会

西日本区報

JAPAN WEST REGION

BULLETIN 第1号 通巻45号 / 2011.7 発行

西日本区理事主題 Contribute to the Community through Active Services with Love.
 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献—理想を目指して変革と行動!—」

国際会長主題 Audere est Facere —To dare is to do 「とにかくやろう—成せば成る」

アジア地域会長主題 To dare is to do 「とにかくやろう—成せば成る」



「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献

—理想を目指して変革と行動!—

“Contribute to the Community through Active Services with Love.”

“Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal.”

2011-2012 西日本区理事 浅岡 徹夫
 2011-2012 Regional Director, Japan West Region
 Tetsuo Asaoka

2011年3月11日に東日本を襲った大震災の被害は、言葉では言い尽くせない悲惨なものであり、2万人を超える死者・行方不明者は言うにおよばず、非常に多くの方々が甚大な被害に見舞われたことに対して心から哀悼の意を表したいと思います。ワイズメンズクラブ西日本区としても今後、継続的に被災者を支援するために全力を傾けて行きたいと思っています。

今回の大震災をきっかけに、私達の生き方が今改めて問われていると感じます。文明の利器や経済性のみを追求する社会であって良いのか、人の命の大切さ、人と地球環境のあり方、地域社会の中で互いに思いやる心などなど、これまでとすれば軽んじられた本質的な価値に気付かされたと言えるのではないのでしょうか。それは実は私達ワイズメンズクラブ（以下ワイズ）が求めている「愛と奉仕」の精神に通じるものであると私は考えます。以下に次年度理事方針を列挙します。

1. 地域奉仕・環境事業

ワイズの地域奉仕や環境問題への取り組みを積極的に推進し、各クラブでの活動を活発に展開する。また世界平和や命の大切さについても機会あるごと

The great earthquake struck the Eastern part of Japan brought a devastating disaster. I would like to express my heartfelt condolences to all the great number of victims, including over 20,000 people who passed away or are still missing. Y's Men's Club will continue to put our efforts to support. I feel that this great earthquake became a opportunity to reconsider our way of living. Can we continue to pursuit our accessibility of goods and materialized society? What's the value of human lives? How human and the world's environment are supposed to be? Where is the kindness and consideration regarding the others? We came to face these fundamental values that we have not paid much attention to. I believe our spirit "Active Service with Love" is approaching to these questions. Here are the lists of the policies for this term.

1. Community Service/ Environmental Project

We will promote to tackle with environmental problems and community services and each club develop further activities. We will insist on the importance of the world peace and human live. Especially this term, we will dedicate to the great East Japan earthquake's disaster-hit area. For

に発信する。今年度は特に東日本大震災復興支援に可能な限り尽力する。具体的には「復興支援献金」の呼びかけや、西日本区として復興支援をどのように取り組むべきかを検討する委員会を設置して施策を提言する。

また各クラブでどのような活動が行われているか情報を共有し、優秀な事例紹介の機会を持つ。

2. YMCAサービス・ユース事業

YMCAに対する積極的な支援を通じて青少年の健全育成に尽力する。またYMCAと協力して被災者への支援など地域社会への貢献に最大限努める。特に東日本大震災への復興支援はYMCAとの密接な連携・協力なしにはありえず、ワイズがYMCAと共に社会に貢献する姿を示す絶好の機会でもある。またユースの活動を積極的に支援し、ユースの成長・発展を目指す。

3. EMC事業

各クラブは例会の充実に努め、会員相互の交流・親睦・研鑽を深める。同時に社会貢献活動などに積極的に参画することを通じて、クラブの活性化や連帯感を高め、ワイズメンであることの自信と誇りを持っていただく。また例会やクラブの社会貢献活動等に出来るだけ多くのゲストや一般市民を迎え、ワイズに対する理解・共感を深めていただき、会員の増強に努める。会員増強と社会貢献活動はワイズにとって最も重要な車の両輪と考える。

4. 広報・交流事業

ワイズの活動、特に1.や2.で取り上げた社会貢献活動を積極的に内外に発信し広報することで、出来るだけ多くの方に知って頂けるよう努めると共に、優れた活動事例の紹介など各クラブが優れた点を互いに学び合い、協力し合ってワイズ活動の輪を広げるように切磋琢磨する。

またDBCやIBCを活性化してクラブ間の交流や情報の交換を積極的に進める。新しいメンバーなどは、区大会や部会はもちろん、周年例会、合同例会、納涼例会等の特別例会などに、他クラブ訪問の機会を持って頂き、多くのクラブ、メンバーとの交流・親睦を広める。

example, rising "reconstruction aid funds", setting up a committee to organize how we are going to provide reconstruction aids.

Also we try to build data base of each clubs activities which any other clubs can look at and outstanding activities will be introduced in Japan West Regional convention etc.

2. YMCA Service and Youth Projects

By providing affirmative supports to YMCA, we will dedicate to bring up youths. We will cooperate with YMCA for activities to contribute to the society. Reconstruction supports to the Easter part of Japan cannot be achieved without intimate cooperation with YMCA. This also will be a great opportunity to show our contribution to the society along with YMCA. In addition, we support youth activities positively aiming their own growth.

3. EMC Project

Each club fulfills every regular meeting to develop communication, friendship and studies more. Meanwhile by participating to social contribution activities, we will develop solidarity and activate our club activities. Thus each member can develop even more confidence and be proud of being a Y's men. We are also going to host more guests to the clubs meetings and /or activities of community service etc., to share our understanding and supports to the idea of Y's. We will try to gain more new members. Increasing the number of members and social contribution activities are essential for Y's.

4. Publishing Project and Exchange Project

By publishing Y's activity reports that are listed as above number 1 and 2, we will let more people aware of our activities. From this movement, we can learn more about great activities that other clubs are engaging and cooperate to develop further. We keep studying hard by competing with other clubs.

We promote to IBC/DBC activities to exchange information and friendship.

Also we promote to participate our members, especially new members, to District and Regional Convention, annual meetings, joint meetings, etc to develop communication, friendship and study with as many as clubs and members.

5. ファンド事業

ファンド事業を通じてワイズの国際理解を深め、世界的なワイズダムの発展に寄与する。BFの重要性を訴え全員の参加を呼び掛ける。またBF/EF/JWFの目標達成に向けて会員の皆さんの協力をお願いする。

各クラブ独自のファンド事業が、ワイズの社会貢献活動を推進する原動力となるように積極的に推奨し活用を図っていただく。またファンドの意義や活用目的を市民や協力者にPRしワイズの活動に広く理解を得る。

6. メネット事業

メネット独自の視点で社会貢献を目指すメネット事業を、積極的に支援したい。今年度の国内事業としては、YMCAと連携して東日本大震災で被災した子供達、特に親を亡くした子供達を支援する活動を計画している。国際プロジェクトとしてはロールバックマラリア問題等をメンと共に取り上げる。

ワイズの特色でもあるメネットの活動を活発化し、家族ぐるみで奉仕活動等に積極的に参加し社会貢献できるような風土を醸成して欲しい。

5. Funds Project

Through the Funds Project, broaden Y's international understanding and contribute to worldwide Y's-dom. Appear for the importance of BF and let everyone to participate. Also we will ask the members to cooperate with achieving objectives of BF/ EF and JWF.

Ask the members to encourage and utilize the funds project of each club to make it as a motivation for promoting the social contribution activities of Y's.

Also we should inform the significance and aim of their funds project to the citizens and cooperators and gain better understanding from them.

6. Y's Menettes Activities

Support Y's Menettes Activities which have an original view of point regarding to social contribution. For this year we have a plan within the nation to support children who lost their parents from the great East Japan earthquake, along with YMCA. For international activities, we will tackle with rollback malaria problem with the members of Y's. By making the best use of our specialty, Y's Menettes Activities, we hope to create a culture that anyone can join our service activities with their family for social contribution.

2011-2012年度西日本区事業目標 Goals of each project of Japan West Region

YMCA サービス・ユース(国際ASF含む)1人当たり1,500円 YMCA Service and Youth(including ASF) ¥1,500per person	記念すべき時に献金 年間\$5,000 EF PWA\$120 \$5,000 per year
地域奉仕活動(CS献金) 1人当たり1,500円 Community Service Activities ¥1,500per person	西日本区ワイズ献金 年間50万円 JWF ¥5,000 per unit ¥500K per year
断食の時 1人当たり\$16 TOF(Time of Fast) \$16per person	新クラブ設立 +2クラブ Extension +2 new clubs
家庭での断食 ファミリ当たり¥800 FF(Family Fast) ¥800per family	会員増強 前期末+100名 MC +100 new members
BF 資金 1人当たり\$15 BF(Brotherhood Fund) \$15per person	次期役員研修、次期会長・主査研修 LT Training for post DG/RSD and CP/DSD
使用済み切手収集 BF(Brotherhood Fund) used stamps	西日本区報 発行予定年3回 R Bulletin Publish 3 times a yen

※US\$表記の目標金額については、2011年11月開催の、第2回役員会において、当該為替交換レートを確定の上、円換算の金額を発表させていただきます。

ご あ い さ つ



先期は顔を売る期、 今期は学び支える期

次期理事 成瀬 晃三
(名古屋)

2007年次期中部部長であったとき、勤めている会社のオーナーからインドネシアの工場を面倒見て欲しいとの要請があり仕方なく赴任することに決め、次期部長から逃げることになった。誠に申し訳なく多くの方にご迷惑をかけてしまいました。2010年1月に帰国し、「ご迷惑をかけました。もうサラリーマン生活に終止符を打ちました、言われる仕事はなんでもやります」と挨拶をしたところ何か言われました。中部部長はやらなければいけないと思っていたところ、話が大きすぎるのです。名古屋クラブの長井潤ワイズから「俺が事務局長としてサポートしてやるから西日本区理事をやれ、リージョナルフラッグを次の理事に渡すまでサポートしてやる、それを目標にして長井さん自身の健康に気を配り生き続けるから」と言われた。膀胱癌から奇跡の生還をして頑張っている彼にイヤとは言えません。部の役職や区の役職を何もしたことの無い私が突然理事なんて多くの方が驚かれたことでしょう。一番驚いたのは私ですが。代議員会で次次期理事候補となり一番最初に言われたことは、「顔を売る」でした。お陰で9つの部会とチャーターナイト2つ、開かれた周年例会のうち土佐堀クラブ以外は全て出席させてもらい、顔が少しは売れたかな？です。もちろん国際大会や西日本区大会に出席しました。キャビネットの顔ぶれも決まりホッとしていた矢先、長井さんの容態が悪化し6月6日天に召されました。これも神様が私たちに与えられる試練と思い、中部部長を私の代わりに引き受けてくれた谷川修ワイズに事務局長になってもらい、書記 平野実郎、会計 渡辺慎吾、事務局長 谷川修、事務局員 荒川恭司で長井さんが天からヤイノヤイ言ってくれることを信じて進めていくことにしました。

今期は浅岡徹夫理事の下、役員としてお支えすると同時に次期へ向けた研修と考え、精一杯務めさせていただきます。皆様からどうかご指導ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い致します。



幸多き年度になるよう 貢献するために

直前理事 仁科 保雄
(京都キャピタル)

永きにわたり平和な日本に安住している中、わが国にとっては未曾有の東日本大震災が勃発致しました。大震災だけでなく大津波が発生し、その両方が原発を揺るがし、放射能災害を引き起こし、考えられぬほどの被害が風評被害と共に近隣の地方にまでおよんでいます。私たちは今までワイズのメンバー減少の危機感を認識していただくために広報活動や、事業に反映していただくように事業活動やお願いをしてまいりました。

私たちの活動がほぼ目的を達しかけた矢先に、この様な大震災が起こり、根底から事業方針を変更しなければならないのかと、不安がよぎり、毎日をどのように対処したらよいかを考え、眠れぬ夜を過ごしました。

しかし考えなければならないのは、何が一番被災された現地で必要とされるのか、どこに持っていくのかを考えることであり、そのことの大切さを知りました。

当初、東日本区との連絡が急務となりましたが、連絡も途絶えがちとなり、通信の手段の難しさに戸惑いました。が、日が経つにつれ徐々に通信網も回復し、念願の物資集積場所を東日本区より連絡を受け、妙高高原YMC Aに送ることが可能となり、臨時理事通信を頻発し、西日本区ワイズメンの皆様は紙面を活用しましてお願い致しました。おかげさまで西日本区の行動力は目覚ましく、大量の支援物資や支援金を即座にお送り戴きました。そしてこの緊急事業を通してワイズメン・メネットの団結心と心の温かさを知ることが出来ました。

今期はこれから何年続くか分からない支援活動にどのように向き合い、どうして支援活動を切れ目なく行えるのかを新年度に入り、新役員の皆様にお考えいただくことが大変重要な時となりました。私たちは奉仕クラブですが何でも一気にやってしまうのではなく絶えず、これで終わりではなく、もし西日本区でこんなことが起きた時にはどう対処できるのかを併せ持って対処の方法を考え準備を怠ることなく、それから視野を広げワイズメンズクラブが一致団結して取り組んでいくことが大切に思いました。

新年度にあたり、昨年度の経験とこれから踏み出すべき指針をしっかりと定め、今まで行ってきたメンバー増強や、諸々の事業が遅延することなく、進められ、奉仕の精神と共にワイズの大きいなる発展のため、歩み出して戴くことをお願い致します。



びわこの鮎

書記 坂井 繁
(近江八幡)

かつてびわこ部として西日本区の理事が就任されたのが、9年前の2002年でした。西日本区9部の存在と時系列的に2011年は「びわこ部」より理事輩出のご要請が西日本区から3年前に当時のびわこ部部長にあったとお聞きしております。びわこ部内でもって協議をされ部内各クラブ会長にご依頼されましたが、びわこ部として理事の擁立は難しいとの結論で、再度西日本区にお返しされました。その後他の部でもって再度ご検討していただきましたが、結果として一年後再び「びわこ部」から選出していただきたいと強い要請が当時のびわこ部浅岡徹夫部長にありました。

私は当時びわこ部書記として、2009年11月1日、臨時評議会の司会進行で、歴代部長参加の下で協議を重ねましたが、なかなか結論を見いだせず、最終的には、当時の浅岡部長が、ここでびわこ部としてお断りすれば他の部に再々にわたり、ご迷惑をお掛けすることになるとの苦渋の決断で、西日本区理事をお受けした経緯がありました。理事を支えるにあたって私どもに書記を受ける条件で難産の末に理事が誕生致しました。

さて、琵琶湖を擁する滋賀の地ですが、古くは淡海（あほうみ、あうみ）と呼ばれ、それが近江の国と変化したと聞いております。近江と言えば古くは鎌倉時代から近年にかけて活躍した「近江商人」の名前を思い浮かびます。日本の近代化の黎明時代から発展した商社を含め糸編関係の会社のルーツは、この近江商人の流れが多いと聞き及んでおります。この展開のお話はよく「びわこの鮎」となぞられます。

すなわち、全国の鮎の七割は琵琶湖で生まれた稚魚を放流したものであり、琵琶湖で育つ鮎は、成長してもせいぜい6～10センチのいわゆる「子鮎」しかありませんが、全国に放流された鮎は30センチを越す大きさに

成長しております。このことは大変恵まれすぎた環境の琵琶湖では成長しにくく、全国の厳しい川の流れや餌の違い等が、成長の原因と聞いております。取り巻く厳しい環境条件が初めて大きく成長へとつながるといった事例です。

また、近江商人の商いの精神的支柱として近年「三方よし」の言葉を聞かれることでしょう。「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」と言われておりますが、強い信仰に裏打ちされた勤勉、始末という個人的要素だけではなく、世間への奉仕の精神がこの「世間よし」です。

この恵まれた近江びわ湖の地で甘んじることなく、3.11未曾有の東日本大震災それに伴う原発事故等における復興支援は勿論のこと、近江商人の底流にながれる「三方よし」の精神で、近江の地から発信をし、一見近寄りたいたいが、じっくりと味あえば癖になる「ふなずし」のごとくこの一年間、浅岡徹夫西日本区理事主題「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」を実践し、7人の主任様の事業が順調におこなわれますように、また各部長様のご理解とご協力いただけるように邁進いたします。皆さま方の温かいご支援を宜しくお願い致します。



私の思いは…

会計 三原 茂靖
(滋賀蒲生野)

今期の浅岡徹夫西日本区理事が「地域奉仕や環境問題への積極的な取り組み、特に東日本大震災に対する継続的支援を行う」と方針を発表されました。また第14回代議員会で東日本大震災復興支援献金が皆様のご支持を得て可決承認されました。今期会計をお預かりする者として、また一人のワイズメンとして感謝を申し上げます。

2011～2012年度理事GOALのご承認にも感謝いたします。西日本区会計としてこのゴールが達成されますようメンバーの皆様と共に頑張りたく思っています。西日本区約1800名が心一つにして今期の事業を支え、後世に業を残す年度でありたいと思います。今、私達ができること。そして、今しなければならぬことを行動に移したいと思うのです。

日々の会計の業務も歴代の会計さんを見習って、北村久美子事務職員さんと共に西日本区会計を守っていきたく思っています。

会計として一番気になることは会員数です。西日本区はメンバーお一人お一人の会費によって運営されています。各メンバーと各クラブそしてメネットさん達の支えなくしてはどの事業も目的・目標を達成できません。EMC事業委員会の働きと各メンバーの努力によって、よりよい活発な西日本区に築き上げたいと思っています。クラブがしてくれるのではなく一人ひとりがEMCに力をそそいで欲しいのです。

田中雅博直前会計の努力により会計原則が完成しました。いままで会計原則として表したものは少なく、詳細に記載・説明されております。この会計原則により収支を誤ることなく行いたく思っています。杉本隆人元会計よりバトンタッチしている「新しい会計システム構築」も財務委員会で検討いたしてまいります。今期よろしくお願いたします。



ワイズライフを楽しもう! そして飛躍を

東日本区理事 河合 重三
(富士)

2011年度の浅岡徹夫理事様そして西日本区のワイズメンの皆様、キックオフおめでとうございます。

2011年3月11日東日本で発生した未曾有の大地震と大津波による大震災に対して、いち早く支援をして下さいました西日本区のメンバーに、厚く厚く、御礼を申し上げます。今年度も東日本区としては最重点事業が支援活動ですので、なお一層のご理解を申し上げます。

さて、ワイズメンズクラブにとって、会員の維持・増強は永遠のテーマであります。各クラブのプリテンを拝見しますと、YMCAへの奉仕や、クラブ活動に、喜々として参加し、豊かな実り多い日々を過ごしていらっしゃるメンバーが数多くいらっしゃいます。そのようなメンバーには「ありがとうございます」又「おめでとうございます」と申し上げます。

私達ワイズメンは自分の自由な意志でワイズメンズクラブに加入しております。楽しくなければワイズの意味がありません。おもしろくなければワイズの味がありません。勿論、苦しさを乗り越えた時の楽しさ、おもしろさは格別です。

ロースターに登録しているだけでは何の値打もありません。参加し、活動してはじめてワイズメンであります。

ワイズメンが楽しそうに、生き生きと、行動する姿を見て、大勢のゲストと一緒に参加し活動し、やがて多数のゲストが仲間としてメンバーになることでしょう。

西日本区の御発展とメンバーの御健勝をお祈りいたします。



クラブ活動の充実を

行政監事 鈴木 誠也
(神戸ポート)

「愛と奉仕で社会に貢献」浅岡徹夫理事の元、行政監事を担うことになりました。任務は区の運営全般に注意を払い、区役員会に対して適切な助言を行い、代議員会に対して報告をすることになっております。

特に本年は東日本大震災に対する救援活動を抱えることになりました。16年前「阪神・淡路大震災」における全国からの支援に上回る大きな支援が必要です。すべてのクラブが夫々にできることを支援していきましょう。いつも祈りに覚え、励ましながら、ワイズの仲間がいつもいることを心から届けたいと思います。

ワイズダム運動の基本は、クラブ活動の充実からです。毎月の例会とプリテンを大切に守って下さい。クラブの状況に合わせて親睦と奉仕活動を深めましょう。クラブ活動が充実すれば退会者は少ないはずで、西日本区としては、毎年新入会者を100名以上迎えています。3年間で2000人に達するはずで、クラブの中のプログラム、人間関係等によって退会したい人を出さないように心がけましょう。クラブ活動がしっかりすれば、結果的に「愛と奉仕で社会に貢献」できるはずで、



感謝、例会の充実から 健全な財政を

財政監事 佐藤 典子
(熊本ジェーンズ)

2007年6月に次期理事として区役員に就任し、早4年が経ちました。本年度、一連の役員として最後の財政監事を担わせていただきます。思い返せば、これまでに多くのワイズメン・メネットのご協力で何とかそれぞれの役割を務めることが出来ました。皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。

今年度、浅岡徹夫西日本区理事は主題として「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」をかかげられています。私が直前理事として指名委員長を務めた折に、びわこ部長として委員を担われ、びわこ部から理事輩出にあたり、自らその責任を全うされました。その姿勢は、ワイズのモットー「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」を実現されているように思いました。また、ワイズの理想への強い意志を感じることができました。今年度、西日本区がワイズの原点、モットーや理想を再確認するお手伝いができることを嬉しく思います。

さて、私は理事年度に皆さまに区費値上げと国際大会支援のご負担をお願いいたしました。第69回の横浜国際大会も無事に予算内での決算報告をいただいております。この支援金は、前年度で終了となりました。3年にわたってのご協力、有難うございました。

また、区財務については、理事輩出が六甲部・京都部・びわこ部と続き、収支のバランスが取れて参りました。ただ、十分なワイズ活動が出来ている訳ではございません。会員増強にゆとり有る財務となり、ワイズ発展のために活用し、さらには区費の値下げへとつながってほしいものです。特に、長期に渡る東日本大震災の復興支援やYMCA運動への支援など重要な問題を考えますと健全な財政は不可欠ではないでしょうか。

もちろん、財政監事として皆さまからお預かりしています区費が、西日本区各クラブやメンバーの為に有効に支出されるように確認を行って参りたいと思っています。私が主題とした「思いやりや笑顔」で例会が充実し、会員増強につながる事を祈りながら、微力ではありますが、監事としての役目に取り組んで参りたいと思います。

ワイズメンズクラブ国際協会から



国際会長メッセージ

フィン・ペデルセン

親愛なる浅岡理事・西日本区の皆様へ

この度の地区大会におきまして、全ワイズメン・ワイズウイメンを代表致しまして心からのご挨拶を申し上げます。

この大会は、これまで世界に向けて行ってきた数々の素晴らしい活動を反映させる大変良い機会となることと思います。

この機会を是非、喜びを分かち合い、今後もずっと記憶に残るような、良い仲間達がいることを改めて思い起こさせてくれるような場としてください。ワイズメン及びワイズウイメンはただ地区の仲間というだけではなく、歴史を共に創り上げているのです。

国際会長として、主題に「とにかくやろうー成せば成るー」を掲げております。これからの国際的な活動においては全ての人にとってより善となる社会を作るために、一層の努力を尽くしていかなければなりません。

貴方が地区理事となりその熱意を持って活動されることで、西日本地区及び各クラブが今後益々発展し、イエス・キリストの教えに従いより高い理想に近づくことに大きな貢献が出来ると確信しております。

私達の運動は間もなく100周年記念を迎えようとしていま

す。私達のビジョンは、2022年までに会員5万名を達成することです。私は全てのクラブと部が新会員をクラブに勧誘する事、新しいクラブを設立することの可能性を探し求めることを奨励します。

今季が素晴らしい成功と繁栄となりますよう、お祈りいたします。また2012年8月2日～5日に私の地元ノルウェーのスタヴァンゲルで行われる国際大会でお目にかかれる事を楽しみにしております。

神様の祝福がありますように
ガンバレ、ニッポン!



メッセージ

アジア地域会長
ウィッチャン・ブンマーパジョン

親愛なる 西日本区ワイズメン及びワイズウイメンの皆様へ
新年度にあたり、この度就任された浅岡徹夫理事及び区事業主任・区役員の皆様にご挨拶する機会が与えられ、光栄に存じます。また西日本地区メンバーの皆さまに向けて、新緑の芽生えとも言えるこの機会に、2011 年度最初のメッセージを届ける事が出来嬉しく思います。

いつも西日本地区の Y's メンクラブからお聞きしているように、日本はとても美しい国です。それはこれまでも、そしてこれからも変わる事はありません。例えそれが3月11日に発生し、東日本沿岸を襲った大地震や津波のように、多くの犠牲者や被害をもたらす自然災害があってもその事実は変えられません。

日本地区は常に素晴らしいリーダーシップを見せてくれています。特にファンド・BF事業及び「断食の時」(TOF)において、宣伝活動そして資金調達に大きく貢献してくれました。これは地区理事である仁科保雄氏のリーダーシップの下行われたものでした。また同氏がこだわりを持って選んだ新しい西日本地区のテーマはワイズメン・インターナショナルの2022年目標に対し敬意を表したものでした。その「飛び立とう、ワイズスピリッツを胸に」というテーマは私達にその明快な思いを伝えているのです。

後任のアジア地域会長の代表として、西日本地区役員の方々のこれまでの多大な活動に感謝すると同時に、後任される役員の皆様へ今一度お祝い申し上げます。各地域、地区、そしてワイズメン・インターナショナルにおける私達の素晴らしい事業と活動をこれからも遂行して頂きたいと思えます。

「信念をもって使命をはたそう」という思いの下、「成せばなる」という信念を忘れず、私達が皆自らへの挑戦を続けることで今後更に発展していくことを願っています。

ガンバレ、ニッポン!



西日本区ワイズの皆さんへ

国際書記長 西村 隆夫

新ワイズ年度がスタートし、浅岡徹夫理事のもと役員の方々の皆さま、メンバーの皆さまはそれぞれの年間計画にそった、それぞれの活動の準備に忙しい日々を過ごされている事と思います。まだまだ困難な状況にある日本において、今こそ浅岡理事の主題の通り、ワイズの原点である愛と奉仕で社会に貢献される事を期待しております。

国際も藤井寛敏直前国際会長の大きな変革への一歩を昨年度に踏み出す事ができ、今期のフィン国際会長もその実行に意欲をもって取り組まれています。国際でもまさに改革(Change)をなくして、2022年のワイズ誕生100周年を祝う事は出来ないという大きな危機感のもとに、昨年、藤井国際会長が創設されたTF-ICS(国際議会構成検討委員会)とTeam TW22(Towards 2022)が、今回の国際議会に大幅な国際議員削減とワイズユースではなく、若いワイズメン代表への国際議員資格(議決権有)の検討とエリアごとの最大議員数(来期からインドが全体21名のうち三分の一の7名を確保)の制限などのMotionを検討しております。ヤングクラブは通常のワイズ会員ですが、30歳から40歳中心のヤングクラブで、今後検討委員会からのガイドラインをもとに推進されますが、実際には25歳以上の勤労青年のクラブの設立を行う事で、世界で40クラブ、1000名をこえるYouthクラブのメンバーが学生を終えての次の行き先として、またYMCAを巣立った青年達が現在のワイズクラブだけでなく、新しい創造力を共有できるクラブを創ることで、世代ギャップをなくして安定的な運動の拡張が出来る事をめざしています。

西日本区から送り出されていたユースインターン橋崎真実さんも素晴らしい活躍をして、世界のユースとの活発なコミュニケーションと活動を可能にしてくれました。7月末に任期を終えて次のチャレンジに出発されます。心より西日本区の方々の皆さまの国際への人的支援にも感謝しております。本年度も日本のワイズの皆さまの国際へのご理解とそれぞれのコミュニティーでのYMCAとの協働による事業に期待させていただきたいと思えます。

Gambare Nippon!

ユースインターン活動報告

橋崎 真実 (姫路-Y3)

皆さんこんにちは。私は、2010年9月よりスイスのジュネーブのワイズメンズクラブ国際協会本部(IHQ)で、ユースインターンとして活動をしています。このたび、西日本区報でご報告の機会を与えていただきましてありがとうございます。私は、両親が姫路のワイズメンズクラブのメンバーですので、子どもの頃からワイズの例会やYMCAのキャンプに参加してきました。高校生以後は、STEP(短期交換留学プログラム)でブラジルやデンマークを訪問したり、ユースコンボケーションに参加してワイズに親しんできました。2006年からはワイズ・ユースクラブ姫路-Y3の会員としても活動しています。

ユースインターンは、ワイズメンズクラブ国際協会の中でのユース育成の一貫として1994年より始まった制度です。毎年一年間の任期で1人のインターンが公募され、国際会長、国際書記などによって選考が行われます。日本からは、2001-2002年に稲田菜々美さんがユースインターンを勤められています。現在、私は、IHQと同じ建物に併設された35歳以下の若者対象の寮に住んでおり、そこには国連のインターンや学生など世界各国から集まった約100人の若者が暮らしています。スイスといえばチーズフォンデュやチョコレートが有名ですが、ジュネーブの物価は高いため、私は基本的には毎日2回、寮のキッチンで自炊をしています。

IHQでは、国際書記の西村隆夫さんをはじめ6人のスタッフとともに働かせていただいています。スタッフはみな仲が良くとてもとてもわきあいあいとしています。主な仕事は、国際やエリアのユース代表と協働してのユース活動の促進、新設ワイズ・ユースクラブのチャーターの手伝い、3ヶ月に1度の『ユースワールド』(ユースの機関紙)の発行を通じた既存の40のワイズ・ユースクラブの活動の報告などです。この中でも、現在、私が最も力を入れて取り組んでいる2つの活動をご紹介します。

1つは、アフリカでのユース活動の活性化です。私はこれまで、アフリカを2度訪問し、ケニア、タンザニア、ザンビアなどを、1日16時間以上のバス移動で6日間かけて回りました。ケニアでは国際

ユース代表の Vincent やユースクラブ会員たちと共に、ケニア YMCA 総主事、区理事、部長、



元国際会長のベンソン・ワブレさんなどと会いました。またケニア赤十字を訪



問し、ケニア最大の「キベラスラム」でのキベラ YMCA の活動を視察しました。キベラ YMCA のスラムでの活動は、現地の人を巻き込みながら、地域のニーズに応える活動でまさに YMCA の原点を見たような感じでした。訪問の最大の目的は、ワイズユースが取組むと決めた「ストップ結核」の活動を、ケニアのユースと赤十字が協力して行うための準備を進めることでした。結核はエイズ感染後免疫力低下により引き起こされる事が多いので、ケニアのワイズユースが定期的に支援を行っている、スラムの中にある「ムサマリアムエマ」という、親、もしくは本人が HIV/ エイズに感染している子どもたちが通うチルドレンズホームで、結核予防の教育、そして治療が出来ないかということ話し合いました。結果的に、現在までにケニアのユースは、ユースメンバーである現地の医師の協力を得て啓発教育のためのトレーニングを受け、チルドレンズホームの子供たちの大半が結核検査を受けることができました。

タンザニアやザンビア訪問の目的は、メールでは連絡が全く取れなかった現地のユースクラブの活動状況を把握することと、アフリカ南東部のユースコンボケーションに参加することでした。そこで嬉しい驚きは、今まで国際大会には出てこなかった地域の素晴らしいユースリーダー達と出会えたことでした。活発なアフリカのユースがもっと国際レベルでも活動できるような仕組みが必要だと感じました。

もう1つは、「ワイズユース祈りの日」の呼びかけです。このたびの東日本大震災で被災された方、世界中で自然災害により苦しんでおられる方のために、毎月11日14時26分に世界で祈り、24時間の祈りの輪を作ろうと呼びかけました。ワイズユースだけではなく、多くのワイズ・YMCA の方も参加してください、既に3回持つことができました。今後も毎月呼びかけていきたいと思っています。(世界からのメッセージをぜひ以下の専用ページでご覧下さい。日本語あり。<http://ysyouthprayersforjapan.webs.com/>)

今後はナイジェリアのユースコンボケーションに参加して「ストップ結核」の呼びかけ、ヨーロッパエリアユースコンボケーションに参加して2012の準備、そしてワイズユースのためのリーダーシップトレーニングマニュアルの作成に取り組みたいと思っています。これまでの皆様のご支援を心より感謝いたします。残りの期間もどうぞよろしく願いいたします。

日本 YMCA 同盟から



ワイズとYMCAの協力で 東日本大震災を乗り越える

日本YMCA同盟総主事 島田 茂

第14回西日本区大会が仁科保雄理事のリーダーシップと京都キャピタルクラブホストの熱心な働きによって盛会となりました。初夏の清々しい京都でのこの素晴らしい大会にお招きくださりありがとうございます。今回の大会は、東日本大震災後のYMCA救援復興活動の中で全国のワイズメンズクラブとYMCAの協働の重要性を再確認する意義深い大会となりました。震災後全国のワイズメンズクラブは、いち早く被災地である仙台のニーズを聞き、救援物資を全国から集め届けられました。その迅速な行動力と組織力に、ボランティア組織としてのワイズメンズクラブの伝統と理念が現れました。

今回の大震災では、人類がこれまで経験した地震・津波などの自然災害には無い、放射能という目に見えない、そして、収束の予測ができない深刻な問題が地震津波被害に加わりました。これまで政府が「絶対に安全」という原子力エネルギー政策が「想定外」という理由で完全に崩壊してしまいました。この問題を如何に考え、対処するかという事は難しいですが、迅速な対応が政府にも我々にも迫られています。既に世界の国々では、原子力に頼らない新しいクリーンエネルギーによる電力政策が決断され始めています。私たちYMCAも、被害にある人々と寄り添う救援・復興活動を続けつつ、自然と共存する新しい生き方の創造と実践をリードすることが求められています。

この大震災が発生する以前にも世界は、地球温暖化問題によって人類の持続可能な生存が深刻な課題となっていました。原子力からの代替エネルギーが、火力発電やダムに移行するのでは環境は更に悪化します。私たちが追求しなければならないのは、太陽光風力地熱小水力バイオマス波動などによるクリーンエネルギー開発と適用、そして、エネルギーに頼らない自然と共存する生活への回帰です。

YMCAは、「地域に根ざした青少年教育団体として、青少年が救援・復興の活動の担い手として全人的に成長することを目標とし、『人といのちを育む』活動を展開します。」という救援復興方針を決定しました。この困難な時代に、浅岡徹夫理事を中心とする新キャビネットの指導のもと、YMCAとワイズの強い連帯によって、被災した人々と共に新しい生き方で復興を担っていきたいと思います。特に、被災YMCAを支援する募金活動も行います。ぜひ強力なご協力をよろしくお願い致します。



今こそ「若者には幻を、老人には夢を」～共通の夢を掲げて～

日本YMCA同盟連絡主事 光永 尚生
(みつなが ひさお)

同志社の第10代第12代総長で、国際基督教大学(ICU)初代総長となった湯浅八郎は、日本YMCA同盟東山荘における講演で、「若者には幻を、老人には夢を」と訴えました。この言葉は、今でも東山荘の壁に掲げられています。旧約聖書「箴言」の中には、「幻なければ民滅ぶ」という言葉がありますが、湯浅八郎はこの言葉を好んでいたそうです。

また、この言葉の引用者としてもっともよく知られた人物はアメリカの第32代大統領F・ルーズベルトでありました。彼が大統領に就任した年は1933年で、まさに世界恐慌の真っ只中であり、第二次世界大戦という戦争の影が濃くなってきたときでした。その時、ルーズベルトが最初に国民に訴えたことは何か。それは、「改革にはビジョンが必要だ」ということでした。人々の熱意を一つにまとめるためには、共通の夢を掲げることが必要です。そして「幻なければ民滅ぶ」という言葉をもって彼が提案したのが、「新規巻き直し」いわゆる「ニュー・ディール政策」でした。

私たちのYMCAとワイズメンズクラブは、2010年度-2011年度の働きにおいて、多くの取り組みを行い、良き働き、良き研鑽の機会を重ねてまいりました。この期間に私たちは、まさに、多くの幻が現実のものとなったものを見ながら一年を過ごしてきました。しかしながら、3月11日を境として、私たちの生活は一変し、まさに国難という事態を迎えています。さらに、いつまで続くかわからないという社会の閉塞感が強まっています。

「私たちは今何が出来るのか。」おそらくこれからも自問自答の日々が過ぎていくと思います。私たちの活動は、今こそ志を高く、共通の未来に向かって、前進するときではないでしょうか。まさしく「生きることは愛すること、愛することは理解すること、理解することは赦すこと、赦すことは赦されること、赦されることは救われること」に繋がるのではないかと考えます。今こそ、老若男女を問わず、ワイズダムの精神が、これからの未来を担う若者たちと共通の夢を掲げて進められることを祈念してやみません。

～聖書の言葉～

「私たちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」 新約聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 4章18節

事業主任の方針



YMCA・ユースに示そう ワイズの心

Yサ・ユース事業主任 藤川 洋
(広島)

ワイズメンズ活動(以下ワイズ活動と略します)は「生き方」です。ワイズ活動を知れば知るほど自らの「生き方」が形成され、自由で、アクティブで、楽しい人生が過ごせます…。

大上段に構えた書き出しになりました。今回、YMCAサービス・ユース事業主任という大役を受けることになってどうしても肩に力が入ってしまいます。

1、私が広島ワイズメンズクラブに入ったことで

私のワイズ歴は25年です。これまで広島の地一筋でワイズライフを楽しんで来ましたが、広島クラブが近江八幡クラブとのDBCの縁から、今回、西日本区の「ひのき舞台」に一躍登場することになりました。広島クラブには広島YMCAが仕事の上得意先であり、前任者の退職引継ぎによって入会したのです。広島YMCAと私の勤務先は道1本隔てただけの、同じ敷地内にあるような関係で、余りにも便利すぎる環境にありました。その理由もあって広島YMCAの多くの人たちを既に良く知っている状況でした。ですからYMCAのことは前から多く知っていました。第13回西日本区大会《広島》開催でお分かりいただきましたように、広島は人類初の原爆投下を受けて一瞬のうちに多くの市民の命が奪われました。幸い生存できた人々は現在でも原爆症という後遺症を引きづっています。私の生まれたのが1947年、原爆2年後です。私の中にも広島市内がまだ焼け野原のままだったという記憶が残っています。ですから私は広島の復興の歴史と共にあります。広島YMCAが広島の地で活動した歴史と共にあります。

浅岡徹夫西日本区理事は「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」を提唱されています。そして「YMCAに対する積極的な支援を通じて青少年の健全育成に力を尽くす」と方針を出されています。私にとってのワイズの原点は、私の歴史経験からどうしても「YMCAをサポートすること」になります。広島YMCAが被爆直後から今日まで66年間行ってきた、青少年の育成活動や平和活動をずっと目の当たりに見聞してきただけにこだわりがあります。

2、各地区のワイズメンズクラブ訪問で教わったこと

ワイズメンに入会して2年後 DBC 関係にある近江八幡クラ

ブを訪問しました。40周年記念例会の時でした。私はそれまで近江八幡という町をまったく知りませんでした。しかし訪問してビックリしました。稲穂が続く田んぼの中に突然現れ、聳え立つ教会、隣接する木造の体育館に驚愕したのです。なぜ?という疑問が頭をよぎりました。帰ってすぐに「近江八幡」を百科事典で調べました。「奉仕の町」「ヴォーリス」「近江兄弟社」不思議な名称や言葉に引かれ、一気に読みました。近江八幡クラブから「奉仕」「ブラザー(兄弟)」という言葉を学んだのです。広島クラブはまだその頃「西部」に属していました。「部書記」を務めることになってから神戸・鳥取・岡山・姫路・宝塚・福山などの地を訪ね、各クラブの例会を訪問することができました。それぞれの地にYMCAが存在し、ワイズメンが素晴らしいサポート活動をされておられ、地道な活動の歴史を刻んでおられることを知ったのです。鳥取クラブや宝塚クラブはメンバーの努力によって地域にYMCAを作られたことも学びました。

3、YMCAサービス・ユース活動は、「人を育てる」活動です

クラブでは、年齢や職業に隔てなく、同じ一人のメンバーとして自由な発言、丁寧に聞いてもらえることなどが当然として行われており「人を尊重する」気風がしっかり保たれています。こういったことは一般の世界では有り得ないことです。また、聖句や祈祷によってクリスチャニティについても学ぶ機会があります。我が家は浄土真宗ですが、高校時代の校訓が「己に徹して人のために生きよう」でした。不思議とこの校訓とともに、ワイズメンズクラブのモットー「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」言葉は両方とも味わい深く共感を覚えます。自分を静かに見つめる時間や言葉となっています。私たちワイズメンはワイズ活動を直接的にYMCAに向け日々行っています。ワイズの綱領がそのように導かれていますからでもありますが、反対にワイズ活動の良き理解者はYMCAであることに繋がるのではないのでしょうか。そのYMCAに属し、また関わっている若者たちを私たちワイズメンは、共に同じメンバーの一員として受け入れる体制を作ること日々努めなければいけません。私たちがワイズで育てられているように、この若者たちをワイズが育てる義務(権利)があると私には思えます。YMCAサービス・ユース活動は、若者たちを「人を育てる」活動でもあります。

4、Yサ・ユース献金 目標 1,500円 が誇りと生き方を生む

西日本区では、ロスターにも記載されているように「Yサ・ユース献金 目標 1,500円」となっています。ワイズメンズクラブの活動の根幹をなす活動でありながら、収入は「献金」「目標」という

形がとられていることに私は深い意味を感じ取っています。まさにワイズメン一人ひとりの献金によって、YMCAを支えよう、支えているのだと覚え、覚えさせることに意味を持たせているように思います。そこからワイズメンの一員であることの「自由」と「誇り」そして「生き方」を示しているような気がして止みません。

5、「2012 国際ユースコンベンション ノルウエー」ユース参加者の支援金はYサ・ユース献金から!

西日本区から一人でも多くの若者を参加させたいものです。参加への支援金としてYサ・ユース献金が使われます。YMCA サービス・ユース活動は「人を育てる」事業です。“みんなが一人のために 一人がみんなのために”ワイズメンバーだから出来る業です。Yサ・ユース献金目標 1,500 円、100%達成にご理解とご協力をお願い申し上げます。



奉仕を共に語り アクションへ

地域奉仕・環境事業主任 戸所 岩雄
(彦根シャトー)

国難とも言える東日本大震災復興という現実、混迷を続ける社会・経済環境にあって、個々のクラブに於いては活動の根幹となる活動理念や奉仕のあり方等の検証が求められ、メンバーにあっては相互の研鑽を通じ、ワイズメンとしての資質向上が求められています。

クラブの良き伝統を守りつつも新しいワイズダムへの挑戦の為に「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」を理事テーマとして展開される西日本区の社会奉仕・環境事業の活動が実りあるように、微力ながら効果的活動の展開への協力をさせて頂く所存でございます。

皆様のご協力とご指導を宜しくお願い致します。

1) 活動方針・活動計画

【活動方針】各クラブがワイズ活動の中で語らいの場を増やし、その議論を通して自信と自覚を高めた効果的かつ市民とコンセンサスを共有した、具体的行動（事業の展開）へ結びつけていただくよう支援する。

【活動計画】○過去3年間の地域奉仕・環境事業のアンケートの実施

○CS、FF 資金の申請、運用の理解と効果的活用ができるようサポートする

○ロールバックマラリア支援献金の普及運動をサポートする

○CS、TOF、FF 献金の全クラブ 100% 達成を支援する

2) 実施済み事業

* 地域奉仕・環境事業のアンケート実施

期のスタートに先立ち5月20日アンケート依頼。皆様の協力により6月10日までに西日本区全クラブの概ね75%のクラブより回答を頂きました。報告書(CD)を作成し6月26日主査研修会で配布。部を通じて全クラブへの配布と有効活用をお願いをしました。

今期の事業がより効果的なものに成るようにとの思いで先行実施しましたが、趣旨をご理解協力頂いたことにお礼と感謝を申し上げます。

* ロールバックマラリア献金の啓発のためのCD利用を主査研修会に於いて主査の方々にお願いしました。国際事業として実施されているロールバックマラリア献金の内容をより多くの方々に知って頂くことが肝心であると思います。必要なクラブは主査様に申し出下さい。

3) 今後の活動予定(～12月)

・CS 資金の申請メ切時期を、7月20日と12月10日の2回としました。多くのクラブに申請頂くことと、その公正で効果的活用を努めたいと思います

・「東日本大震災復興支援検討委員会」へ支援のアイデア等の提言に努めます



『へんしん』しよう!! ～2000名達成を目指して～

EMC 事業主任 大岩 英人
(京都グローバル)

主題:「一人のへんしん、みんなでへんしん、ワイズがへんしん」
へんしん=「変進・変新」

変進:あらゆる変化に対し、進化しようとする向上心を持つ。

変新:あらゆる変化に対し、新化しようとする柔軟な心を持つ。

1997年に1952名おられたメンバーが、今年5月30日現在で、1741名と200名を超えるメンバー減少となっています。しかし、ここ数年で見ますと大きな減少時期もありましたが、2000推進チームの発足や歴代のEMC事業主任さんのご尽力により増加傾向に転じてはおります。しかし、メンバーの減少は単なる景気や社会情勢が悪いから、という問題だけではないように思います。その時代にあった活動、その時のメンバー数や年齢にあった活動、そして何よりクラブの活性化をしていなかったのではないのでしょうか。

各クラブの会員数の動向を見ていると、会員増強に

積極的に力を入れているクラブ、増減のないクラブ、徐々に減少しているクラブというのが見えてきます。増減のないクラブでは、着実に平均年齢が上がってきています。減少しているクラブは、奉仕活動やクラブ運営にかかる金銭的・人的負担は、クラブ員個々にかかる割合が大きくなってきます。あらゆる負担が大きくなると退会者を招くことになります。どこかで、今までのクラブの運営の方法、例会の持ち方、奉仕活動の内容、などの概念を少し取っ払って『マンネリ化の脱出』、少しの『へんしん』してはいかががでしょうか。一人の小さな『へんしん』が集まれば、大きな『へんしん』となり、クラブがきっと『へんしん』するでしょう。しかし、『へんしん』にはクラブメンバーの勇気と団結が必要です。どうか一度クラブでワイズの『へんしん』について語ってください。そして少しでも実行に移していただくと、きっと良い方向に進むと思います。

～『へんしん』のポイント～

- ①会員増強・会員造強によるクラブ資質の向上です。
『増強』は今まで通りの新メンバーの発掘です。そして『造強』は既存メンバーの意識改革、資質・意識の向上を意味しております。今までは増やすことばかりに目が行きがちですが、内部拡充にも力を入れる意味で『造強』にも力を入れて頂きたいと思えます。
- ②100%出席を目指した魅力ある例会運営です。やはり、クラブの原点は例会だと思えます。例会が楽しくなければ例会に行こうという気にはならないと思えます。例会のキーワードは『楽しい・めりはり・充実・目配り・気配り・心配り』だと思えます。
- ③2V例会、プラスワン例会、オープン例会等のゲスト歓迎型例会の開催です。ワイズに対する理解を深めていただく機会を作っていただきたいと思えます。
- ④他クラブとの合同例会、合同事業、事業協力を積極的に行い、親睦と情報交換を図る。

最後になりますが、早期2000名達成・ワイズの『へんしん』を求めて、微力ながら頑張りたいと思えます。皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



BF ポイントのゼロクラブ 努力と工夫で解消を!

ファンド事業主任 三牧 勉
(大阪茨木)

西日本区のファンド事業とは？

ついこの間まで、私自身、「ファンドFund」という言葉ですぐに思い浮かぶのは、じゃがいもファンドなどという、いわゆるクラブファンドでした。あえて自分の恥をさらけ出したのは、私と同じ認識のワイズもいらっしゃるのではないかと思ったからです。

資金とか財源、基金などと訳されるファンドFundですが、国際や西日本区でいうファンド事業とは、国際の「BF」と「EF」、そして西日本区独自の「JWF」という3つを推進する事業をいいます。クラブファンドとは直接的な関係はありません。

○BF (Brotherhood Fund) : BF資金といい、国際役員やBF代表(後述)の旅費に充てる資金。①基本となる使用済み切手の換金②現金で、各クラブ・ワイズにとって唯一義務的なもの。

○EF (Endowment Fund) : 国際信託基金といい、ワイズダム発展のため、会員やクラブからの寄附・遺贈・献金等を集めたもの。

○JWF (Japan West Fund) : 西日本区ワイズ基金といい、区の特別事業等に使用。クラブや個人の冠婚葬祭等の記念献金を受けける基金。「奉仕張」に記載し顕彰。



このように見ると、一見、個々のクラブや会員には直接関係のない感じもしますが、我々ワイズメンは国際メンバーの一員なのです。こうした自覚に立てば、その意義は自明なはずで、ファンドの充実、世界のワイズダムにとって大変重要なものなのです。

そこで、今期の私の主任主題は「ワイズ運動の原点を見据えてファンドを充実し、ワイズダムの充実発展に貢献しよう」としました。

ファンド事業のゴール

3事業のゴール(目標額)は特別なものではありません。ワイズメンとして「当たり前なこと」と自覚し、その達成に努力してください。それがワイズの国際理解を深め、世

界的なワイズダムの発展に寄与するのです。

こうした考えのもとに、今年度の目標額を以下のとおりに設定しました（1 U S \$ = 100 円として計算）。

① B F : 1 人 15 U S \$ (使用済み切手換金分 + 現金)

西日本区の目標 22,500 U S \$ (2,250,000 円)

② E F : 1 回 120 U S ドル (昨年 11 月、区役員会で 100 ドルから変更)

西日本区の目標 5,000 U S \$ (500,000 円)

③ J W F : 1 口 5,000 円以上

西日本区の目標 500,000 円

ファンドの締切日

① B F : 中間締切り : 11 月 30 日 (切手・現金とも)

最終締切り : 1 月 31 日 (使用済み切手)

(有) フクオ Y ' s 係到着まで

2 月 15 日 (現金) : 入金確認分まで

② E F 2 月 15 日 : 入金確認分まで

③ J W F 随時 (従来どおり)

表彰基準 (第 15 回西日本区大会)

・ B F 100% 達成クラブ賞 (1 人 15 U S ドルのゴールを達成した全クラブ)

・ B F 達成上位クラブ表彰 (上位 10 クラブ)

各クラブ・ワイズへのお願い

① B F ゼロポイントクラブをなくそう !

B F は使用済み切手だけではなく、現金も大事な資金です。使用済み切手、現金を問わず、「ゼロポイント」クラブのないように、ご協力ください。

② 未使用テレフォンカード等プリペイドカードの現金化や書き損じハガキの換金などの工夫と努力でゼロポイントのクラブをなくしましょう。

③ 西日本区から B F 代表を送り出そう !

将来の西日本区を担う有為なワイズメンを世界に送り出すためにも、ぜひ応募してください。募集は 9 月 ~ 10 月に各クラブ会長にご案内します。

④ クラブファンド事業を積極的に企画・実行しよう !

西日本区のファンド事業に直接関係はませんが、クラブの活性化のためにも、大いに企画・実施を。

~~~~~  
ワイズ活動全般に共通しますが、ファンド事業も強制するものではありません。世界のワイズダム充実のためにも、各部長・主査の方々と連携しながら、各クラブの皆様にご理解とご協力を「お願い」するだけです。



## 一期一会で楽しい交流 兄弟クラブになりませんか

交流事業主任 廣瀬 一雄  
(西宮)

西日本区各ワイズメンズクラブ会長の皆様、ワイズの皆様、日頃のワイズダムへの貢献に感謝いたします。

さる 6 月 11 日の京都ウエスティン都ホテルで開催されました西日本区大会に於ける第 2 回準備役員会で、各部長さまに西日本区 / 東日本区 DBC・IBC 関係図の CD 版をお配りしました。

また 6 月 26 日には第 1 回交流主査研修会と交流事業委員会を新大阪で開催し、各部交流主査のみなさんと研修会を持たせて戴きました。会議の場において各主査様にこの CD 版をお渡しさせていただきましたが、この度、各クラブでの DBC や IBC 活動が東日本区、あるいは海外を含めてどのような状況にあり、今後どのように進めていけばいいのかを一覧で分かるように関係図の CD 版を作成いたしました。この関係図をご覧いただき、皆様の交流事業のきっかけになれば幸いです。

また、この関係図は最近のロスターや、クラブ間での交流活動として DBC、IBC が締結された情報や、新設チャーター情報などの動向を参考にして完成させたものです。各クラブの皆様方でもよくご



写真は一同に会する交流主査のみなさんと直前・現・次期交流事業主任

覧いただいで、誤記や記入漏れ、あるいは今後の予定などがございましたら、速やかにご連絡いただきましたら、訂正してより正確な関係図を作成したいと思います。

この CD 版のコピーはお近くの部長、主査様からして頂くか当方からもお渡しいたしますのでご連絡ください。



## ワイズスピリットを胸に、 クラブリーフレットをポケットに!

広報事業主任 辻野 啓一  
(奈良)

事業主題「ワイズを知らせよう、まず近くから次に広く」

広報はPR、すなわち広くワイズを知らしめることが目標です。もちろんこれは重要です。本年度も皆さま共々努力してまいります。本年度はこれに加え、近い距離重視と申しますか、ワイズ以外の皆様方のお知り合いにクラブリーフレットを積極的に手渡して頂き、ワイズの良さをお知らせ願いたいと思っています。文字通り「手の届く広報」です。皆さま、ワイズのリーフレット（区・部のものでも、クラブのものでも構いません）をいつもポケットに入れ機会を見つけ、ワイズの良さをお知り合いにお伝えください。ワイズの全員が広報員となり、顔の見える方にワイズの良さを伝えましょう!

本年度は表彰基準に「クラブリーフレット配付賞」を設定致しました。ルールはいたって簡単、「名前のご存知の方に手渡しで1カウント。」これだけです。もちろん10枚渡しても1カウントですよ。同じ人に違う日に手渡してもカウントは増えません。いろんな方にどんどん手渡し、ワイズの良さをお伝えください。ゲーム感覚でも構いません。みんなが広報員になりワイズを広めましょう!!

### 1. 事業方針

- ① YMCA とのパートナーシップに関する広報を積極的に行う。
- ② 地域奉仕活動、社会貢献活動を外部および他クラブにも広報する。
- ③ 各クラブのホームページを充実し、ワイズの外部や会員向けにも情報を発信する。
- ④ 結果として各クラブ活動の活性化とワイズの知名度向上に貢献する。

### 2. 事業計画

- ① YMCA 内の多くの場所にワイズメンズクラブのリーフレットを設置頂き、また例会や他の活動に関する情報を掲示することにより、YMCA に来られる外部の方の目に留まるように努める。
- ② ホームページの立ち上げがまだのクラブの例会や活動の紹介などを、所属している部のホームページに掲載していただくようにする。

③ ワイズの社会貢献活動などを積極的に広報することで、一般市民のワイズに対する理解を促進すると同時に、多くの市民が社会貢献活動に参画する機会を提供する。

④ 会員の皆様が広報委員となり知人やご家族にワイズでの活動などをお話いただく。

⑤ 西日本区各部の主査との連携を密にし、各地のマスコミ情報等を的確に事業主任に吸い上げる。

### 3. 第15回西日本区大会における表彰基準

- ① プレスリリース優秀賞（メディアへの報道・掲載など）
- ② YMCA パートナーシップ報道賞（特にYMCA とのパートナーシップに関する報道や情報の発信）
- ③ クラブリーフレット配付賞（クラブリーフレットを配付した枚数による）
- ④ ホームページ優秀賞

皆さま！一年間よろしくお願ひ申し上げます！



## メネットの愛で豊かな心を

メネット事業主任 大澤 玲子  
(熊本ひがし)

次期役員研修会、準備役員会に出席し、メネット事業主任としての役の重さを感じ、この一年間前向きにメン、メネットのみなさんの力をかりて事業に取り組んで行きたいと思っています。

3月11日に東日本大震災が起り日本中、いや世界中の人達が一時パニックにおちいりました。今期の事業主題である「若者に夢と希望を！」メネットの愛で豊かな心をは、まさにワイズメン、メネットが心をひとつにして、被災者の支えとなれるように、若者の力を信じ、若者が夢と希望が持てるように、ひいては若者達の成長に繋がるように、メネットの温かい心で見守り、支援していきたいと思っています。

「聖句」 何事にも時があり 天の下の出来事にはすべて定められた時がある（コヘレトの言葉 3章1節）

私はクリスチャンではありませんが、東日本大震災の後、この言葉に強い感銘を受けました。人生にはいろんな時があります。嬉しいとき、悲しい時、苦しい時など、しかし東日本大震災のように、半端でないこの世の苦しみ、悲しみを背負った被災者の方達のことを思うと胸が張り裂ける思いです。この事により私達は家族や友人はもとより、地域の絆の大切さも知りました。

ワイズメン、メネットとして私達は何をすべきか、短期間だけでなく、長期間にわたって、被災された方たちへの思いやりを持って関っていくことも必要ではないで

しょうか。私達メネットの取り組みが、被災者への支えとYMCA ボランティアリーダー、専門学生達の成長に繋がりますようにお祈りいたします。

## 部長メッセージ



### 実感したい 「ワイズに入ってよかった!」

中部部長 長谷川 和宏  
(名古屋東海)

ワイズメンは概して「人が好き」「人の集まりが好き」なワイズメンがクラブから得たことは、さまざま。共通項は「ワイズに入ってよかった!」という実感をテコにして、理想を目指して行動を起こしていくということ。理事主題「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」副題「理想を目指して変革と行動」を受け、私は部長主題を「先ず一步一歩、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」としました。

人によってクラブ参加の動機やクラブによって、活動の強調点も異なります。

○「楽しめるワイズ活動」「学べるワイズ活動」「働けるワイズ活動」「つなげるワイズ活動」どこからでも入り込めるワイズメンズクラブ活動があり、楽しみを求めて入会した人も、社会貢献をまじめに考えた人も、仲間を求めた人も、その思いと行動がお互いにどれともつながり合い、スパイラルに発展していくことに気付かされます。

○幸い、中部の北陸、東海には、独自性と特徴があり伝統のあるクラブがそろっています。

だから今こそ、クラブは交流を強め、「楽しめるワイズ活動」「学べるワイズ活動」「働けるワイズ活動」「つなげるワイズ活動」のそれぞれを大切に、優先順位を定め、クラブと共に一人ひとりもその入会動機を大切にしながら、クラブ活動にどんな役割を持ってどう関わるのか、その中で、一人ひとりが「ワイズに入ってよかったー」を実感し合いたい。

○西日本区や中部からもYサや地域奉仕、EMC等具体的な願いをしていきます。しかしワイズの要はクラブにあります。スタートもゴールもクラブの活動の中にあります。クラブでYサや地域奉仕、EMC等をじっくり話し合ってください。

区や部は「楽しめるワイズ活動」「学べるワイズ活動」「働けるワイズ活動」「つなげるワイズ活動」にクラブが力を発揮するよう応援します。そのためには、みんなで目標を決めることです。

○目標が決まったら、先ず一步、行動し、結果を評価し、その上で課題を見つけ、更に計画へ、そして再び行動へ。このA・P・D・C・A・Pのサイクルが回り始めると、個人もクラブも充実し、間違いなく中部もEMCが強化されます。

○以下、ワイズの諸事業とりわけ地域奉仕・環境事業、Yサ・ユース事業活動の活発な展開で、個人の成長とクラブの発展を果たしていきたい。未着手クラブには新鮮な「先ず一步」を是が非でも要望したい。

①Yサ・ユースでは、中部の地元YMCAと協力し、スタッフの願いやユースやリーダーの働きを知ること、交わりを深めることから始めます。

②地域奉仕・環境では、東日本大震災プラス原発災害という複合災害と共に歩むことになります。継続的な被災地支援をクラブごとに考えます。支援募金にとどめず、私たちに出来ることを探し、YMCAを通じて行なったり、地域団体との連携を工夫します。一方、従来から継続している地域活動を発展させます。

③ワイズの活動を支える各種のファンド作りを工夫し、しっかり蓄え、計画的に活用します。西日本区指定ファンドのゼロ回答クラブもなくします。

④国内外の仲間との交流、研鑽、合同例会などワイズならではのイベントやDBC、IBC等の仕組みを活かします。未締結クラブには今年を交流元年とします。

⑤ワイズメンズクラブの社会的認知度を高めることを急ぎます。そのために、YMCAにばかり頼らないワイズ独自の広報を行い、クラブで大胆に情報発信、情報収集を行います。

⑥時代に即したワイズとメネットの新しい関係作りを中部でも試行します。

○私たち中部は、先月、急逝された長井潤ワイズ(名古屋クラブ)のYサ・ユース事業への熱き想いを決して忘れない。「ワイズが元気になれば、YMCAも活気を取り戻す。その逆も然り。」そのために何が出来かかを考え、私たちはそれぞれの立場から、クラブと中部の結束と発展のためにやればできるという気概を持って「先ず一步」踏み出します。

○「ワイズに入ってよかった!」を心から実感できる一年にします。皆さんのお支えとご指導を心から願います。





## 一年間を楽しみます

びわこ部部長 一井 伸介  
(草津)

部長職って何だろう？昨年、草津クラブで選考委員会があった時に手を挙る前に考えたことです。そうです、自分で手を挙げたのです。理由はチャーターメンバーが引き受けることになりそうだったからです。ジタバタするより気持ち良くの精神です。

そしてその時に、以前フアンド主任をさせて頂いた時に、びわこ部長をされた伊藤ワイズ（彦根シャトークラブ、故人）の言われていたことを思い出しました。それは、主任よりも権限はないし、各クラブの会長よりも偉い事もない、地域の連絡会の取りまとめ役みたいなもので、出すぎたらあかんのや、と言うことでした。ですから僕も頑張ってるんですが、気楽に楽しんで各クラブの多くのメンバーと交わりたと思っています。

さて、今年の僕の主題は「CS活動でワイズの名前を地域に広めよう」です。

メンバー数が前任の江畑ワイズのお陰で少し増加したと言っても、まだまだ目標の200人にはほど遠いのが現状ですし、各クラブの平均年齢も少しづつ上昇しているのも分かり切っています。そんな中でEMCを頑張るためには、まず、もっともっとワイズの名前を地域社会の人に知ってもらうことが大切だと思います。その事が多くの人にワイズメンズクラブにかかわるきっかけを提供することになると考えたからです。

具体的には、例会場の周りにフラッグをいくつか立て、イベントの時にはこれでもかというぐらいに旗を立てる。このことは草津クラブではすでに、実践していますが、なかなか良いものですよ。ワイズの仲間では目印で多に助かりますが、本来そんな目的のものではない筈なので、積極的にすでにあるものを利用して下さい。

また、各クラブのCS活動を今一度見直しをして、広く市民の方がたにワイズを知って頂く機会を作っては、という提案をしています。このことも、結果的にはEMCに繋がる筈なので、より有効な活動、よりマスコミに載りやすい行事を考えていただきたいのです。

いずれにしても、ほかの行事も大切ですが、何よりもEMCです。結果が出ますように応援は致しますので、どうかよろしくお願ひします。



## 人の幸せとワイズ活動

京都部部長 前 登  
(京都みやび)

今期の部長標語は「志を共有し、小さな1歩大きな前進」、副題として「思いやりと感謝の気持で粘り強く」とさせて頂きました。

活動計画としては、「従来の慣習やら価値観が変革している現在、新たな取り組みへの模索がいろいろなところで始まっていますが、YMCA 支援、地域奉仕、環境社会貢献を一体化した視点でとらえ、志を共有しベクトルを同方向に向け、思いやりと感謝の気持ちを常に忘れず1歩ずつ前にすすむことを目指したい」ということですが、抽象的な表現でとらえにくいと思います。

もう少し平たく表現すると京都部では18クラブもあり、メンバー数からして、10名に満たないクラブから70名以上のメンバーをほこるクラブまでそれぞれです。当然クラブ運営の方法や例会の持ち方もさまざまです。これはある程度いたしかたがないことで、かえって画一的ではクラブの特徴が発揮できません。それぞれのクラブが特色をもって切磋琢磨できることが大切であり、それこそが自己研鑽に結びつく所以なのです。ただワイズの心構えや理念は、是非とも共有したいものです。YMCA 活動や地域奉仕、環境活動に対する熱意や思いの差があっても、大同小異として大きな志を共有するときに、前進への1歩が始まると信じています。

「豊かになれるものから先に豊かになれ」と鄧小平の言葉にありましたが、ワイズの規範行動はそれとは違い、「強いクラブが大きく前進するのではなく、多くのクラブが1歩ずつ前進する」ことのほうが大切ではないかと思っております。とかくEMCでは多数の会員獲得が脚光をあびますが、それは組織を維持する上での原動力のためであり、本来のワイズメン精神に直結するものではないはずで。

力のあるクラブは何もしなくとも前へ向かいますが、西日本区の20名に満たない多くのクラブでも、沢山のよいところは保持しているはずで。ただしクラブの継続的な発展を考える時に、この原動力は無視できないことは必ず心に留めておかなければなりません。

さてこの「小さな前進、大きな1歩」はまだそれ以外にも個人の幸せの感じ方にも結びついております。「思いやりと感謝の気持ち」を副題にしましたのは、「小さき弱気のものにも広く心をくばり、他の者を信じて疑わず継続するときに、光明が見えて前進する」という考え方と、「継続と最後まであきらめない実行力が成就を

可能にする」と史実が論拠になっています。

人の幸せは他人のものさしでは計れませんが、他人の喜びや悲しみを感じることはだれでもができるはずです。他人の喜びや成長を自分のものに真に共有できたとき、はじめてその人に何倍もの幸せや生きがい訪れる礎が生まれるのではないのでしょうか。

ワイズのモットーに「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」とあるのは皆様ご存知でしょうが、義務感のみでワイズ活動を継続するのは、かなりしんどいところでしょう。ワイズ活動を通して全メンバーが、義務感によるのみではなく、生きがいや幸せ、充実感などを感じられる活動こそ、今求められているのではないのでしょうか。素直に周りのメンバーの幸せや生きがいを感じられることができる環境づくりに微力ながら一躍を担えればと思っています。



## 主役はクラブ、 部長はみんなの応援団

阪和部部長 松本 三枝子  
(大阪サウス)

部長主題 「響き合い、ともに歩む

To walk together, echoing each other」

一人娘みほが小学5年生の夏休み、ワイズメンである友人の紹介でYMCA阿南海洋センターキャンプに参加したときがYMCAを知ったきっかけです。

知り合って間もない仲間と手をつなぎ楽しそうにタラップを降りてくる娘の姿、おとなしい方の彼女が活発で積極的な娘になって帰ってきたことにびっくり。娘はその後YMCAプログラムに参加し、世界ユースキャンプにも参加し、大学生になってからはボランティアリーダーとして大活躍し、リーダー会長も勤め、友達にも恵まれて、頼もしく育ちました。子供が大きく育つ機会を与えるYMCA運動を応援しなくちゃ、と思ったのがワイズメンズ活動に参加するきっかけです。

部長職を受けるに当たり、青少年育成事業を大きな柱とするYMCA運動を応援し、地域奉仕などのボランティア活動を展開する中で、人と人の交わりを楽しみつつ、自己の向上を図る。このようなワイズメンズ活動において、部の役割は何か、そして、現在の、また、近未来の阪和部がどのような活動をしていくのが良いのか、そこでの課題は何か、を常に考えながら職務を果たしてゆくことを初心として述べました。この初心を忘れず、これから職務を進めて参ります。

熱心な活動を続けるワイズメンのお一人ひとりが、それぞれの

強い思いをもってワイズメンズ活動を展開しようとする中で、互いの個性のぶつかり合いが起きますが、しなやかな心を持ち、優しい心で、それぞれの良さを互いに認め合うことが、それぞれのクラブを力強く、そして、大きくすることに繋がると思います。その中で、ただ、互いを認め合うのに止まらず、仲間の思いに響き合うよう力を添えてゆくことが1つ1つのクラブをより大きく、力強く、育ててゆくことになるのではないのでしょうか。殊に、少人数で頑張っているクラブに対しては、阪和部の周りのクラブやクラブメンバーがその活動に共鳴し参加して力づけることが大事であると思います。

クラブの活動やプログラムにおいても、単に、「今までやっていたからこれで良い」とするのではなく、「これで良かったのだろうか」と初心に戻り振り返ってみることで、さらなる発展の道がみえてくると思います。そして、みんなが良いと思うことは続ける。他方、新しいことにもチャレンジする、常に新陳代謝を心がけることが大事であると思います。

部は、理事方針を部なりに組み立てて部の活動に活かしてゆくとともに、阪和部ワイズメンズ活動を活発化する上で、部内外情報を部内全体に迅速に伝達することを心掛けています。

部長の働き、そして、部の働きは、上のようにして活動を展開する阪和部各クラブを勇気付ける応援団(チアリーダー)であると思っています。



## であいで 愛

中西部部長 清水 誠治郎  
(大阪西)

はじめに、東日本大震災に被災されたすべての皆様に、心よりお見舞い申し上げますと同時に、被災地の日も早い復旧と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。これからも中西部は西日本区と一体となって被災された皆様への支援を続けていきたいと思っています。

さて、中西部は大阪、大阪土佐堀、大阪豊中クラブと50年の歴史を誇るクラブを有する西日本区で一番歴史のある部と言っても過言ではありません。ですが、この15年間、大阪ヴェクセルクラブが誕生して以来新しいクラブが出来ていません。本当に残念なことです。

戦後65年、日本は大きな転換期に入り、社会は大きく変化しています。かつての成長の時代は、長い休息の時代に入っています。殊に人口構造の変化が進み1960年代に5.7パーセントだった65歳以上の人口は今年23.1パーセントになっています。2年後には団塊の世代の700万人が高齢者の仲間入りをし

す。日本は人口の30パーセントが65歳以上の人が占めることとなり、3人に1人は高齢者ということになります。中西部のワイズメンズクラブも例外ではありません。このまま安閑としていれば、15年後、20年後には組織は消滅してしまいます。

私は、今期のテーマを“であいで 愛”としました。人は生まれると一番最初に母と であい、愛のぬくもりを感じます。幼児生活、学生生活、社会人の生活と、ひと夫々の であい を経験してその中で色々な学びがあります。その であい は一生を左右するような出会いもあれば、胸をときめかす であい もあるでしょう。私はワイズメンズクラブに入会して30年近くなりますが本当に多くの方々と であい 大きく成長させて頂いたと思っています。胸襟を開いて心から話し合える仲間を作りましょう。

メンバーの獲得と増強そして質の向上を目指します。部としてその応援とお手伝いが出来ればと考えています。確かにメンバーの獲得やノドロップは本当に難しい事ですが…。と言って避けて通れる事ではありません。

温故知新、けれども過去の栄光は追わないことです。未来に向けて若い人達の主張に耳を傾けましょう。

プラスワン例会や、人数の少ないクラブにあっては合同例会を企画し、例会の内容を充実させて、なるだけ多くのゲストやビジターが集える楽しい例会を企画、立案し実施して頂きたいと願っています。永くて辛い努力が続くと思いますが一緒に頑張りましょう。

私は夢幻成真(Dream come true.)と言う言葉が大好きです。

中西部も皆で夢を叶えましょう。200名と言わず250名の夢を！夢は1人で見ますとただの夢ですが多くの仲間や同志と一緒に見る夢は必ず実現すると信じています。



## 「六甲部200名」を目指して 粘り強く頑張ろう

六甲部部長 森 紘一  
(神戸学園都市)

### 東日本大震災に思う

去る3月11日発生の東日本大震災は、今日の日本に大きな衝撃を与え、いまだ復興途上にありますが、私が個人的に強く思った点は次の3つです。1つは、大自然の脅威に対して効率・経済性を優先した技術に走った人智の浅はかさです。2つは、国をリードすべき政治家が首相の足を引っ張ることしか考えない真のリーダーシップの無さです。3つは、被災され肉親さえ失った人々が、それでもめげずにお互いに助けあひながら、粘り強く

生き抜こうとしている日本人の逞しさです。多くの人が大なり小なり類似の感想を持たれているものと思いますが、六甲部活動計画においても、これらから得られる教訓をしっかりと念頭に置いて取り組んでいきたいものだと思います。

**部長主題：伝統を守りつつ、若返りを図ろう！**

－もっと楽しく、もっと活発に－

わが六甲部には、創立から81年、63年の伝統を誇る神戸クラブ、西宮クラブから13年の芦屋クラブまで8つのクラブがあります。先輩クラブが、次々とエクステンションをはかり現在に至っていますが、その六甲部も過去最大で191名であった会員数が直近の統計では約140名までに減少していて、どのクラブも若手会員増強が追いついていかない悩みを持っています。

今年度の活動方針は、2009年度にスタートした六甲部200中期目標の3年目の年として、シンプルに「六甲部200名を達成することを目指して、若手が活躍する場を与えられるワイズメンズクラブにする」としました。

そして、もっと楽しく、もっと洗練と活発なワイズに変身しようと願っています。どんな苦難に遭われようともお互いに助け合いながら、一緒に仲間としてワイズ運動の活性化と会員増強に粘り強く取り組んでいきたいものと思います。

**守るべき伝統とは何か？**

それは、原点に帰って「ワイズの目的は何か？」を振り返ることになります。ワイズ国際憲法の第2条 綱領と目的(Purpose and Objectives)の第1項に次のように明記してあります。

1. イエスキリストの教えに基づいた、相互理解と敬愛の思いに結ばれた、あらゆる信仰の人々が共に働くという事
  2. YMCA に対する忠誠心を持つという事
  3. 活発な奉仕活動を通じて、リーダーシップを開発、助長、供給する事
  4. 人類のためのよりよい世界を築くよう尽力する事の4項目です。
- これは1922年にワイズメンズクラブ国際協会が設立されたときにポールアレキサンダーが憲法として草案を作成し、1974年に一部を改訂されて現在にいたったもので、組織としての目的、目標を規定しているものです。これらがまず基本的に守らねばならない事です。

私は、この中で第3項に記載してある「リーダーシップを開発、助長、供給する事」が、手段のように思えながら、実は目的として掲げられていることに非常に重要性があると考えます。リーダーシップを開発することが、単にワイズのために働くリーダーシップであることだけではなく、社会に人材を供給することを目的としているということだからです。

**若い人の潜在能力を発掘して活性化をはかる**

新会員の入会式のときに読み上げられる入会式式文という



のがありますが、これもポールアレキサンダーが草案を作成したとされています。そこにも上記の綱領が掲げられており、さらにそれを達成するためには各個人はどうあらねばならないかが述べられています。上記の綱領が組織としての目的、目標を規定しているのに対して、こちらは個人としての目標を規定しているのです。この中の5番目に「誠心誠意(熱心に、一生懸命に)働け(奉仕せよ)」とあります。これは、惰性はやめようと言うことです。惰性とはマンネリです。惰性とは、一生懸命でないということです。マンネリになっていると感じたら、何か新しい工夫を加えることが大切です。ここに、リーダーシップというものが出てきます。リーダーシップとは新しいことを提案し、それを進める力です。これは若い人に潜在能力があります。その潜在能力を引き出して、伸ばしていくことを考えていきたいと思えます。

### お金で換算できない大切なものがあるということ

効率・経済性を追求して行くことは、全てをお金に換算して評価しようということです。この考えは、お金が多くあれば便利さ、楽しさがより多く得られて幸福になれるという評価と結びつき三段論法の論理で、効率・経済性の追求が幸福度の向上につながるという思考に傾いてしまいます。若い人にこういう考えが多いのではないのでしょうか。

しかし、このたびの災害で亡くなられた人々のいのちを始めとしてお金で換算できない大切なものがあることは自明のことです。ワイズはそれらの、ともすると効率・経済性至上主義の考えに押されて忘れられがちになる大切なもの(これには大きいものから小さいものまで色々あると思いますが)を大事にする活動をYMCAと共に進めて行きたいと思えます。



## 「プラス1を考えよう！」 を進めよう

瀬戸山陰部部長 蔵知 武  
(岡山)

### 部長主題

地域のニーズを読んで、個性あるクラブづくりで活力を!

—— EMC を逆の発想で考えよう! ——

### 活動方針

各クラブの例会・活動に「プラス1」を常に考え、部で共有する!  
いま、瀬戸山陰部は人数的には西中国部に抜かれ最下位であるが、各クラブとも前向きで元気である。瀬戸山陰部のリーダー的存在である姫路クラブのメンバーが減少し危機感があるが、部の活動に影響が出ないよう5クラブがしっかりと連携して前に進んで行きたい。

瀬戸山陰部の各クラブの位置する環境は、それぞれが異なった文化圏にあり、部という一括りに出来ない多彩な顔を持っている。クラブがある地域やクラブの特性を読んで、それにワイズがどう関わり特性を出すかを考え、やり甲斐や有意義な活動で、クラブの個性を創り上げていくことが、クラブの活性化を図ることになる。

クラブ運営での EMC 運動では、今までと逆の発想で、会員増強は必要か? 出席率は多いほど良い?...と考えると、気づかなかったものが見えてくるのではないか。前に踏み出そうとするとき、往々にして負の要因を挙げ「それは現状では無理だ」「新しいことをしたいが、〇〇があって出来ない」と否定から入ってしまう。

今一度クラブやメンバー、環境や文化など周りを見直して、「ここが他のクラブには無い素晴らしいとこだ」「こんなことが出来るんじゃないか」「あれを取り込めばこっちに広がる」...等、プラス要因を探って踏み出して頂きたい。今期は「プラス1」を探し出して、何でもいから新しいことを始めて頂きたい。そこに新しいクラブの歩みを見つけれらるだろう。

無理して伸ばすと必ず歪みがかかるが、新しい衣を身につけ元気になったクラブには自然とメンバーが入ってくる。楽しく踏み出した元気なクラブが集まって瀬戸山陰部の力となるよう、各クラブが前に歩み出して頂きたい。

ワイズメンズクラブは阪神淡路大震災救援・復興活動で素晴らしい働きをしてきたが、今年起こった未曾有の東日本大震災はもっと広範囲で複雑な対応を求められる支援に、個人・クラブ・部・区が今期もしっかり関わって行かねばならない。的確な情報の入手と行動が求められて行くだらう。息の長い支えが必要である。YMCAと協働しつつみんなで関わっていかねばならない。ワイズの働きを再認識し、地域奉仕・ボランティア活動の本質がそこにあることを認識していただきたい。

・部会 2011年10月15日(土)

会場:日本キリスト教団 岡山教会

従来形の部会ではなく、お金のかからない、ノンアルコールで気楽に参加でき、第10回の部会として記憶に残るものを開催する。

・評議会 2011年7月23日(土)

会場:日本キリスト教団 岡山教会

2012年3月24日(土) 会場:未定

・事業主査の変更

永戸 昌和交流事業主査(姫路)が6月に退会されたので、馬越 顕さん(姫路)が替わって交流事業主査の任を担われることとなった。

瀬戸山陰部のみなさん、お一人お一人が主役です。ご一緒にやりましょう!



## ワイズのミッションをパッションを持ってアクションに繋げよう!

西中国部部长 谷本 秀康  
(東広島)

浅岡徹夫西日本区理事は、2011-2012 年度の理事主題として「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」、副題として「理想を目指して変革と行動!」を掲げておられます。私は、この1年間西中国部の部長という大役を引き受けるにあたり、「ワイズの原点」に立ち戻って、ワイズメンが果たすべきミッションとは何かを改めて自らに問いかけてみました。

英語の mission は、日本語に「伝道活動」、「使命」、「責務」、「天職」などと訳される含蓄のある言葉ですが、ワイズメンズクラブ国際協会の国際憲法第2条(綱領と目的)の第1項には、「イエス・キリスト教に基づき、相互理解と敬愛の思いに結ばれて、あらゆる信仰の人々が共に働く、世界的友好団体であり、YMCA に対する忠誠心を共にしつつ、活発な奉仕活動を通じて、リーダーシップを開発、助長、供給して、全人類の為のよりよき世界を築くべく尽力するものである。」と明記されていますので、ワイズのミッションは「活発な奉仕活動を通じて全人類の為のよりよき世界を築くべく尽力する」ことであると理解することができます。

「全人類の為のよりよき世界を築く」ことは一朝一夕に出来ることではなく、千里の道を歩むような長い道のりですが、どんなに実現が困難であっても、まず第一歩を踏み出し歩き続けなければ目的は単なる夢に終わってしまいます。ワイズメンは常に理想主義者であることが求められています。ワイズのミッションとして崇高な理想を掲げ、その実現のために尽力(活発な奉仕活動)をしようというパッション(情熱)を持ってアクション(行動)に繋げることで変革が生まれると思うのです。

ワイズは世界的友好団体であるので、あらゆる信仰の違いを乗り越えてワイズの輪を世界中に広げたいと願って、本年度の部長主題を「ワイズの輪を広げよう国内に国外に!」としました。活動方針として①例会を充実し会員増強につなげる②YMCA との協働関係の強化③部内クラブ間の交流の促進④IBC、DBC との交流促進を掲げ、活動計画として①毎回例会に卓話者を招き内容を充実させる②YMCA の活動に積極的に参加する③年1回は他クラブの例会に出席する④BCクラブとの交流プログラムの計画・実施を掲げ、部内の各クラブにその実現の為に行動(アクション)を起こすよう訴えたいと思います。

Yサ・ユース事業に関しては、2012年3月にY・Yフォーラ

ム開催。YMCA とワイズの連携を密にすると同時に、YMCA とワイズの共催イベントを企画しユースの積極的参加を呼びかけます。

地域奉仕・環境事業に関しては、市民参加型行事を企画すると同時に、全クラブにCS、TOF、FF 献金の100%達成を呼びかけます。又、毎月1回のFFの実施を呼びかけ食事代相当分をFF 献金に充当します。

EMC 事業に関しては、本年度中に西日本区最小の部という汚名?を必ず返上するぞというパッションを持ってアクションを起こすつもりです。2000推進チームと連携して8月27日(土)にEMC シンポジウムを開催し、メンバーの意識向上を図ります。又、部に属する7クラブに対して前期・後期にそれぞれ最低1名新入会員を獲得するよう呼びかけます。

ファンド事業に関しては、部としてBF、EF、JWFそれぞれの意義が理解できるような啓蒙活動を行います。又BF基金を活用してエリア大会や国際大会に参加するよう呼びかけます。

交流事業としては、8月12日(金)～14日(日)の間、インドからのBF代表を受け入れ親睦を図ります。又、それに先立つアジアエリア大会(台湾)での海外ワイズメンとの交流を呼びかけます。同時にそれぞれのBCクラブとの交流プログラムを実施します。

広報事業としては、本年度中に部のホームページと各クラブのホームページを整備・充実し、ワイズの活動をひろくPRするよう務めます。又、地元のマスコミにワイズの行事に関する情報を提供し、取材要請を行います。

メネット事業に関しては、メネットの国内プロジェクト、国際プロジェクトを部として全面的に支援します。又、メンとメネットの親睦会も開催します。

部会は10月1日(土)に開催されますが、記憶に残る楽しい部会になるよう知恵を絞って企画していますので、出来る限り多くのワイズメン・メネットに参加していただきたいと思えます。

西中国部は次次期理事を輩出する予定なので、部として理事キャビネットを含めた支援体制作りの具体案を出来る限り早い時期に提案したいと考えています。

最後になりましたが、本年度は西中国部の変革に繋がる行動の1年となるようパッションを持って頑張りたいと思いますので、皆様のご協力ご支援のほど心よりお願い申し上げます。



## 物事の「本質」

九州部部长 中堀 清哲  
(鹿児島)

\*本質=存在するもののありかたを決定づける本来の性質。  
根本の性質「集英社国語辞典参考」

2011年7月から2012年6月までの「ワイズメンズクラブ西日本区九州部部长」という大役を仰せつかってから、約1年の間に日本の世の中はがらりと変わってしまいました。明治維新より約140年にわたって日本は数々の困難を乗り越えて世界トップの経済大国になりました。特に第二次世界大戦(日中戦争・太平洋戦争)の挫折から奇跡の復興と称えられるほどに、この国は物質的には豊かになりました。しかし、振り返ってみると高度経済成長が行き詰まった頃より、漠然とした不安が国民の間に蔓延しておりました。経済バブルが起こり、一瞬不安が解消されたかのようにでしたが、まるで麻薬に犯されたの如く、楽な方へ楽な方へと厄介な問題は次世代へ後回しとい

た政府の政策の連続でした。環境、高齢化、教育、少子化、財政・・・、経済的目先の豊かさを追求するあまり、忘れ去られていたツケがのしかかっていた矢先に、今回の東日本大震災が起きました。この物質的豊かさを維持する為に、敢えて危険な原子力を「安全だ」と偽り利用し続けてきた人間に対して、突きつけられた難題は現在進行形で存在しているのです。人類が約300万年(諸説あり)かけて営んできた世界を、先ず一変させたのが、産業革命であったでしょう。人間が人間としての本質を失って暴走し始めたとき、ロンドンで生まれたのがYMCAです。崇高な理念の下でYMCA運動は世界に広がりまして、更に時代が下り、アメリカで設立されたのがワイズメンズクラブなのです。人間としての本質を見失った人々が多くなった日本に自然の脅威が襲いかかりました。豊かな生活に慣れきった日本人が奈落の底に落ちぬようにする為には、今こそ、更にYMCA、ワイズの本質が必要とされると私は信じます。本当の豊かさとは何か、と云うことをあらためて考え、ワイズメンが目指す理想社会を再構築するのです。九州部部长として、覚悟と使命感をもってこの一年間を過ごしたいと思います。そして、私自身ワイズダムの本質を追求したいと思います。

## 西日本区在庫グッズ

西日本区ではワイズ活動を会員や広く多くの方に理解していただくため、各種リーフレットやキャンペーングッズを作成しています。TPOをお考えいただき、クラブ発展のためご利用ください。数に限りがございますので、ご利用につきましては西日本区事務所にお問い合わせくださいますようお願いいたします。



東日本大震災復興支援  
缶バッジ(有料)

知っていますか？

**HIV/AIDS**

REGIONS JAPAN WEST

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区  
〒700-0001 広島県広島市東区本町1-1-1  
TEL: 082-231-1111 FAX: 082-231-1112  
E-MAIL: info@wsc-japanwest.org  
www.wsc-japanwest.org

HIV/AIDS 拡散防止キャンペーンクリアファイル  
在庫が無くなり次第終了

ワイズメンズクラブって  
賢い人の集まり...って訳？

本人達は...  
そう思っているのですが...!

ワイズメンズクラブ理解のために

**TIME OF FAST**

「断食の時」って  
ことでしょうか？  
断食をする...訳？  
...何のために？

ワイズメンズクラブ国際協会  
西日本区

TOF理解のために

EF・JWFの葉

EF(国際債託基金)  
JWF(西日本ワイズ基金)

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

EF・JWF理解のために



# プライオリティー No1

元クリスチャニティー委員長  
長井 潤 (名古屋)

毎年発行されているロースターの表紙を開いていただきますと、国際聖句・目的につづき、その年の理事さんの主題の前に our motto として「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」とあります。

ではこの「義務感」の中でも最大のものは何でしょうかと申しますと、まず「クラブ例会への出席」です。是非皆様このことを心に留めていただき“今”あなたのスケジュールの中にあなたのクラブの第一例会の日程をご記入下さい。

ワイズメンズクラブが他の奉仕団体、例えばライオンズやロータリーと最も違うことは YMCA という「祈り」に支えられた世界的な団体と共に活動をするということです。また、他の奉仕活動団体が、どちらかと言えば紳士の社交クラブ的要素が強いことに比べて、家族みんなで参加できるということです。その素晴らしい例が「メネットクラブ」の存在ではないでしょうか。

また、ワイズメンズクラブはご承知のように、国際団体でありますから、クラブの月例会は、部・区・アジア・そして世界へと繋がりが広がる団体です。ですからもしもあなたがクラブの例会だけに出席しているのでは、まるでトイレの窓から世界を覗いて、その前に広がる山や川や、木々や大自然を知らずにいるようなもので、私たちの素晴らしい団体の奉仕と連帯のごくごく一部しか知らないことになってしまいます。

では、これら多くの機会に積極的に参加をする人は、暇と余裕があるのでしょうかと申しますと、応えは「ノー」です。むしろその逆かも知れません。くどいかも知れませんが、今一度このことを再確認して下さい。

ワイズメンズクラブの大切なモットーは「強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う」であり、その最大の義務は例会に出席することであり、そして周年行事や部会、区大会等の行事に積極的に参加することです。

私はある方が「まさにワイズへの参加は、プライオリティーですね。仕事が忙しいとか用事があるからと言っている間はプライオリティー No.1 にはなり得ませんね。ワイズを No.1 に置くと、自然にスケジュールがそうなる行くものですね。」と言われたことが忘れられません。



「忙しいから」「時間がないから」「臨時出費だから」と言っているのは、折角のワイズライフが十分に楽しめません。ワイズは積極的に参加すればするほど楽しくなり、その良さが実感できます。そして結果として私たちの活動が充実します。このことは、私たちの多くの先輩の情熱と歩みの歴史を振り返ると明らかです。

「大切な仕事は忙しい人に頼め」というスゴイ言葉がありますが、どうぞ何時も「プライオリティー No.1」にご留意いただき、「例会の弁当の注文数に困る」なんて次元で担当のドライバーを悩ますことなく、積極参加でクラブを盛り立てていただきますよう、衷心からお願い申し上げます。

.....

長井潤ワイズから、睚臓癌が再発し医師から「今度入院したら帰れないと言われた」との電話を頂き、4月下旬に名古屋へ出向きました。その頃は、お元気で元西日本区チャブレン西村清ワイズとともに名古屋駅まで出迎えて下さいました。お見舞いに行ったつもりでしたが、所属教会で約2時間、近くのレストランで昼食をともにしながら約1時間、ワイズ・YMCAについて篤い思いを語って下さいました。その時に、区報に掲載するので原稿を書いて頂けませんかとお願いしたところ、快く承諾して下さいました。しばらくして頂いたのが上記の文章です。顔には出されませんでした。痛み止めで体をなだめながら頑張っておられたお姿に敬服と感謝の思い出がいっぱいです。ありがとうございました。

元クリスチャニティー委員長 長井潤ワイズ (名古屋クラブ) は6月6日、享年60歳で天に召されました。

区報編集委員会

# 常置・特別委員長からのメッセージ



## ワイズ活動は自己研鑽から

ワイズリーダーシップ開発委員長  
藤井 久子 (神戸学園都市)

いよいよ新しい期が始まります。今期より尊敬する井之上温代委員長の後、ワイズリーダーシップ開発委員長という大任を引き継ぐことになりました。浅岡徹夫理事のご指導のもと、経験・学びの浅い私が率先して学びを深め、皆様から信頼される牽引力と包容力を兼ね備えたリーダーの育成のため微力ですが頑張りたいと思っております。

さて、LD 委員会が発足して8年が経ち、西日本区では当委員会に対する評価とその存在の必要性が十分に理解されてきています。LD 委員会は、各部から比較的経験の浅いメンバーによって構成しています。研修に関わることによって、ホームの部・クラブに良きフィードバックがあると信じております。次期には、LD 委員会のメンバーから事業主任・部長を輩出することになり、嬉しい限りです。

1月の「次期役員研修会」は、次期の事業を遂行していただく主任・部長グループの研修です。役員となられる皆様にワイズ理論の再確認をし、具体的な事業活動の分析・計画をしていただきます。また、3月の「次期会長・主査研修会」までにご自身の方針・事業計画を熟考し、コミュニケーションを密にさせていただきたいと思っております。

3月の「次期会長・主査研修会」では、参加されている会長・主査は、未経験の方と経験のある方が半々になっています。初めての方には、より具体的に丁寧に、経験者の方々には参加いただき現状・情報を得て、意識を高めていただきたいと思います。

両方の研修会ともプログラムが目一杯になっておりますが、忙しい中参加いただいておりますので、より多くのものを持ち帰っていただきたいと思います。西日本区全体から集うこの機会に意見交換し、交流を深めていただきたいと思います。

今期の研修会は下記の要領で開催します。

●次期役員研修会(2012 - 2013 期 役員対象)

2012 年1月8日(日)～9日(月)ホテルクライトン新大阪

●次期会長・主査研修会(2012 - 2013 期 会長・主査対象)

2012 年3月10日(土)～11日(日)チサンホテル新大阪



## 決意新たに

組織検討・安全対策委員長 乙坂 優次  
(京都トップス)

浅岡徹夫理事からの命をうけ、柴田善朗委員長の後任として組織検討・安全対策委員会の委員長をさせていただきます。この様な大役が務まるかどうかとの懸念を抱きながらも、現有メンバーでやらせて頂けるならということでお引き受けさせていただきました。新しい理事のもと、少しでもお役に立つことができれば幸いです。

当委員会は2004年度柴田理事時に理事執行部の会計を任され、その準備段階で「もしも理事執行部等、区の運営機関に緊急事態が起きた時の対応はどのようにするか?備えを確立しておこう」という理事の考えから、緊急事態が起きても「安定した運営」ができるようにと臼井征郎委員長のもと特別委員会を設置、その後常置委員会として2004年11月に制定・施行され、今日に至った経緯があります。

幸いにもその様な非常事態もなく、定款施行細則や諸規則の文言訂正等が主な仕事として推移して来たように思いますが、本年3月の東日本大震災のことを考えると「何事も備えは必要である」ことを痛感する心境です。緊急の事案は西日本でも起こり得ることであり、しいては西日本区の運営にも支障をきたす恐れがある事を考えると日頃から「準備すべきは何かどうすべきか」を委員会メンバーの協力を得ながら長いスパンで検証していかなければならないと考えます。結果を急ぐのではなく、まずは全クラブのワイズメンの意識付けから始めたいと思っております。

昨年度、当委員会の提出議案で「組織のスリム化に向けてのPT設置」が一部承認され、仁科保雄理事を中心に常任役員会において審議される事が決まったと聞いておりますが、その件に関する結論についても委員会として関心を持って見守って行きたいと思っております。

昨年度の新山兼司EMC事業主任及び2000推進チームのお働きと、各クラブメンバーの意識高揚により着実に新入メンバーが増えてきております。増員はクラブ活性化はもとより、西日本区の財政を豊かにし「安定した運営」に寄与するものでもあります。後は退会者を一人でもなくすよう、クラブメンバー同士でフォローをしい懇親を図る努力をお願い致します。退会者が無くなればメンバー2000超えも夢ではないと思っております。

今後、皆様のお力を借りながら一步一步進んで行こうと決意新たに致しておりますので、何卒ご指導ご鞭撻の程宜しくお願致します。



## 西日本区15期にあたって

ヒストリアン・文献保存委員長  
大槻 信二 (京都センチュリー)

今期より、再び文献保存委員会委員長とヒストリアンを担当させて頂くこととなりました。一昨年まで担当させて頂きました際には、『温故知新』を自らのテーマとし、先人の皆様が積み上げられた歴史や、文献の中から現在に活かせる知恵を見つけ、区運営に活用して頂くことを心掛けてまいりました。この気持、役割に付いては、今期も些かも変わるものではありません。又、過去に発行された文献において、区定款や、諸規則と相容れない表記のなされているものがあることから、それらの是正と共に、新規発行文献に付いては、その保存のみならず、発行時点でのチェック相談の機能を如何にするのかにも、立ち入って考えて見たいと思います。

今期、この役職をお引き受けするに当たり、その気持・役割に加えて、私達、西日本区に集うワイズメンにとって、より大きな仕事を自らに課すことと致しました。

私達、西日本区は、今期15期目を迎えます。10年の節目において、諸般の事情により、パワーポイントによる記録のみとなっている事から、今期一年を通して、系統的な西日本区の歩みを集約する年としたいと考えています。

その為に、前任の濱田勉ワイズ(奈良クラブ)、吉本貞一郎ワイズ(熊本クラブ)、そして、西日本区事務所北村久美子さんという3名の方々に委員をお引き受け頂くことと致しました。これら委員の皆様と共に、如何なる纏めを行うのかの検討や、それに伴う資料の収集に努めて参りたいと思います。

この15年間の歩みを纏めるにあたっては、私達、委員だけでは無く、多くの皆様のお知恵を、お借りしなければなりません。どうか宜しくお願い申し上げます。

併せて、実行は次期となるかと思いますが、今期において纏める15年の歩みを、どの様な形で残すのかを、今期役員の皆様と一緒に検討して参りたいと考えています。

文献保存もヒストリアンも共に息の長い事業ですが、どちらも西日本区ワイズメンの皆様が積み上げられ、又、今後活動されて行く中から産み出される文献・歴史を紡ぐ重要な役割である事を心において、与えられた職にあたってゆきますので、ご協力の程、お願い申し上げます。



## JWF新米管理委員長の胸騒ぎ

JWF 管理委員長 柴田 善朗  
(京都)

浅岡徹夫西日本区理事のご指示により、JWF 管理委員長をお引き受けいたしました。怠けず、無理をせずにごんばります。JWF 管理委員長が動きまわって働く内容の仕事はありませんが、「基金の管理」をはじめ、JWF についてのお話し合いと、後輩を育てる役目はしっかりと努めたいと思います。

JWF について、こまごまと記述することは致しませんが JWF という文字があまりにも有名すぎて、メンバーにご理解いただけないような気がいたします。どうか今期のファンド事業主任さんにご相談いただき、目標に立ち向かってほしいと考えます。

さて、前期代議員会での中間決算報告によりますと、現在西日本区の JWF 基金の残高は 28,403,378 円となっています。いろんところで「使えないお金を集めてどうする?」というような意見を耳にいたしますが、簡単にと申しますか、むやみに使うことは出来ませんが、決して「使えないお金」ではありません。あらゆる機会をとらえて皆さまにお願いをしておりますが、ロスターの最初の部分に綴じられている有色のページを読んで頂きたいと思えます。この中に「各種諸規則」があり、「JWF 管理委員会規則」も常置委員会の規則として記載されております。この基金は規則に定められているように厳重に管理されていますが、各種情勢の変化と時代の変化とを考えると、過去には考えられなかった意見が出たり、方向性に変化があったりする時が出現しそうな気がしてならないこの頃です。

日本区が東西に分割され、新しく西日本区として動き出したわけですが、私が四人目の委員長を拝命したことになります、JWF 基金を守りぬいてこられた書先輩の足跡を汚さぬようにごんばりたいと思います。





## 2000推進チームの使命 は会員増強ではない!

西日本区 2000 推進チーム委員長  
高瀬 稔彦 (岩国みなみ)

「ワイズが好きですか?」「ずっと会員でいたいですか?」  
昨年、あちこちの部会で出席者に尋ねました。部会に出席して  
いるような人には愚問かもしれませんが、やはり『Yes!』の回答  
が圧倒的でした。

わたしもワイズは『気持ちのよい人の集まり』で、ほんとうに大好き  
です。でも、そしたらなぜ、そんな『気持ちのよい人の集まり』に人  
がもっと集まって来ないのでしょうか。キリスト教が邪魔しています  
か。会費の問題? 経済情勢でしょうか。

その答えは、『迎える気がないから…』では、ないでしょうか。ワ  
イズと一線を画す他人は、わたしたちと求めるものが違うでしょ  
うか。わたしは、10kg痩せるほど気疲れもしながら、新クラブをつ  
くりました。確かに参加するゲストも勇気がいりますが、迎える側も  
大いに試されます。

祈禱や賛美歌にびっくりしないように事前に丁寧な説明をこ  
ろがけます。それは次期会長・主査研修会で故長井 潤ワイズ  
や西村 清ワイズに教った請け売りです。クラブの目的は、大野  
嘉宏ワイズの小堀理論を歪片手に語りました。なぜ、新しいクラ  
ブなのか、澤田 賢司ワイズの理論を伝えます。

何度も同じ説得術を繰り返していくと、先程までは諸先輩方  
の言い分だった言葉が、自分の言霊に置き換わります。

皆さんの時代がよかったのは、『時代』という言葉で片付けら  
れますか? わたしは、時代を支えた皆さんが『気持ちのよい人の  
集まり』だったからだと確信します。すると『気持ちのよい人の集  
まり』を20年後に繋げる努力をすれば、きっとよい世の中にする  
お手伝いができるはずなのです。

それを OUR MOTTO『強い義務感を持つ 義務はすべ  
ての権利に伴う』というのではないのでしょうか。わたしたちの外野  
にいるたくさんの人たちも皆さんが幸せと感じるものと同じものを  
求めています。

新クラブづくりを通じて確信をもちました。みんなも繋がりた  
いのです。

2000チームの使命は、このことをみなさんに伝えることです。



## 事務局長への思い

理事事務局長 安田 博彦  
(近江八幡)

約1年半前、当時びわこ部長であった浅岡徹夫理事の「次々  
期理事はびわこ部が受けなければ…」という苦渋と決断の表情  
を身近で感じていました。そして、「私が理事を引き受けたい」と  
打ち明けられた時には、即座に「私もお手伝いさせて下さい」進  
言していました。その時は、理事事務局長とは、どんなに重要で  
大変なお役目だとは考えも及ばないで、ただ、浅岡理事を支えな  
ければという気持ちだけで答えたのを覚えています。その後、事  
業主任様が決まり、理事方針を話し合い、次期役員研修会、次  
期会長・主査研修会、準備役員会と浅岡理事期の活動体制の  
確立に向け、区全体の流れを勉強・経験してきました。その過程  
で、私のできる事務局長とは何かを漫然と模索し続けてきました。  
私のワイズダムの能力・知識の無さは自明のことであり、前任事  
務局長様と同じようにできるわけがないと半分居直りぎみではあ  
りますが、私のカラーを出していくしかないというのがこの頃の心  
境であります。

事務局長は裏方であり、目立たなく粛々と仕事をこなすことが  
大事であるといわれています。文章作成や郵送業務などパソコン  
関係の仕事は、毎日パソコンに向かい合い、こつこつと資料  
整備を行い、理事や主任様へ必要な資料が、いつでも即座に  
提供できるようにしたいと思っています。この事務業務に加えて、  
参謀的な役割も持ちたいと思っています。主任様、部長様から  
気軽に声をかけていただけるよう、何でも相談していただけるよ  
う、「気さくな事務局長」を演じたいと思います。その中で、紙面  
や会議では感じ取れない理事キャビネットの意向や感情を伝え、  
主任・部長様が自信を持って活動されるように後押ししていき  
たいと思っています。どうぞ、何なりとお申し出、お申し付け下さ  
ることをお待ちしております。



## クリスチャニティー特別委員会 アンケート報告

クリスチャニティー特別委員会委員長  
田上 正 (熊本むさし)

クリスチャニティー特別委員会委員

西村 清、長井 潤、澁谷洋太郎、永井康雄、ト田啓三、  
江見淑子、大田厚三郎、三浦克文、藤井久子

### 背景

ワイズメンズクラブ国際協会はキリストの教えに基づく活動を、その基本方針としている。ワイズメンズクラブ会員のクリスチャンの割合は過去の調査では21%～24.6%であり日本のクリスチャン人口1%未満に比較して有意に多いものの、ワイズメンズクラブ会員全体の割合からすれば少数派である。多数を占めるノンクリスチャンのメンバーに、キリストの教えを伝え受け入れてもらう努力は、ワイズメンズクラブのアイデンティティーを維持する上にも重要である。そこで各クラブの現状およびクリスチャニティー特別委員会に求められていることを知るためにアンケート調査を実施するに至った。

### 目的

①ワイズメンズクラブ国際協会西日本区の各クラブのクリスチャニティーに関する事項を調査し、1998年および2004年度の報告と比較する。②各クラブがクリスチャニティー理解のためにしているプログラムを知る。③クリスチャニティー特別委員会への要望事項を調査し、今後の活動に活かす。

### 方法

西日本区の各ワイズメンズクラブのクラブ会長に、2011年1月1日付けの半年報をもとに表1の調査項目アンケート調査を依頼した(表1)。郵送・メール・FAXで返信のないクラブ会長には直接電話を行い、対話形式で聞き取り調査を行った。西日本区89クラブ全てから回答を得た。6クラブで1月1日時点での半年報報告人数と若干の差があったが、回答時のクラブ会員数であることを確認し、そのまま集計処理を行った。

### 結果

YMCA 連絡主事を除く1608名の会員中、クリスチャン会員は348名であり21.6%を占めた。部ごとでは、中部32.1%、びわこ部13.8%、京都部4.4%、阪和部28.5%、中西部32.5%、六甲部49.2%、瀬戸山陰部43.8%、西中国部16.6%、九州部21.2%であった。

YMCA 連絡主事を加えると、1690名中430人のクリスチャン会員・連絡主事で25.4%であった。部ごとでは、中部34.6%、びわこ部17.6%、京都部7.8%、阪和部32.7%、中西部36.8%、

六甲部52.1%、瀬戸山陰部46.4%、西中国部22.6%、九州部25.4%であった

クリスチャン人口は、1998年度の同調査では西日本区全体で378名(21.0%)、2004年度では417名(24.6%)であった。1998年度と2004年度ともに、YMCA 連絡主事が集計に入っているか否かの区別が明らかでないが、クリスチャン人口の割合には大きな変化はなかったものと推察された。調査した3つの年度の部毎のクリスチャン会員の割合を表2に示す(表2)。

クラブ会員の中に教職者がおりチャプレンの役割を果たしているクラブが16クラブ(18%)あった。一方で例会時の開会祈祷または食前感謝は90%以上のクラブで実行されており、ワイズの目的を唱和しているクラブや聖句朗読と解説しているクラブもあった。プリテンへの聖句や聖句の解説の掲載も77.5%クラブで行われていた。祈祷や聖句の解説は、チャプレンを有さないクラブではクラブ内のクリスチャンがその役割を担当していた。プリテン記載記事の中で、賛美歌解説を3～4ヶ月ごとに更新掲載しているクラブや「主の祈り」を掲載しているクラブもあった。

キリスト教に関する行事の中ではクリスマス例会が多く84.3%で実施されていた。特にクリスマス例会時には、例会を教会で開催したり聖書に関する学びの機会を作っているクラブがあった。その他の行事としてはイースター例会を実施しているクラブが2クラブあった。クラブの単独行事ではないが、都市YMCAで開催している市民クリスマス行事に参加・協力しているクラブも少なからずあった。ノンクリスチャン新入会員に対するオリエンテーションで、ワイズ読本ワイズ読本を用いているクラブがあった。

1クラブで「クラブ例会ビジターに宗教的雰囲気や過度にならないようにする」配慮から、宗教行事を敢えて行わないという立場で、プリテンへの聖句記載や例会時の食前感謝を行っていない(参考1)。

クリスチャニティー特別委員会に対する要望としては、①東日本区との連動、②YMCA スタッフへの働きかけ、③キリスト教に関する講義の提供、④「聖句の解説」適切な参考書の紹介または解説冊子の発行、⑤キリスト教理解促進のための簡単なツールやマニュアルの作成、⑥メッセージを伝える、⑦「祈祷ハンドブック」の作成、⑧キリスト教理解のための卓話や勉強会の提供、があった。

その他の意見として、①各クラブのクリスチャニティーへの温度差を認めながらも、ある程度の(キリスト教理解の)指針は必要、②クリスチャン自身が持っているキリスト教へのこだわり、クリスチャンでない人が抱いているであろう宗教特にキリスト教への誤解を取り除く取り組みが必要、③例会で自然に賛美歌を歌い、主の祈りを唱えるようになりたいという希望、④教会での例会や役員会の開催(定期、非定期を含む)があった。

## 考 察

### 1) キリスタン会員の占める割合の推移について

1998年および2004年に実施した同様のアンケートでは、対象者にYMCA連絡主事を「含む」「含まない」の記載がなかった。しかしながら各年度のメンバー数の推移を考慮すると、全二回の集計結果は連絡主事を含んだ可能性が高い。キリスタン会員の占める割合は、この13年間で大きな変動はなかったことがわかる。部ごとの推移も同様な結果であった。

京都部のキリスタン会員の割合の低さは他の部と比較しても顕著であった。日本国内ではキリスタンの信徒数は約260万人程度であり、人口比では1%を超えた事は無く、神道や仏教に比べてキリスタンは少数派である。現在無信教の人口割合が多くなってきているとされるが、家庭に神棚があるか仏壇があるか、またはあったかで、神道と仏教のどちらにも帰属意識または親しみを持つ者が多く存在するであろうことは想像に難くない。京都部が、とりわけ寺社仏閣が数多く存在し日本の神道・仏教の中心である京都府にあることを考慮すると、ワイズメンズクラブであるから約8%もキリスタン会員がいると考えるべきであろう。ワイズダム活動を引っ張ってきたノンキリスタンの京都部の多くの先達が、キリスタン理解に大きな理解を示してきたことや、宗教にこだわらないEMC活動の歴史は京都部の力強さの核心であるが、キリスタン理解をどのようにノンキリスタンメンバーに働きかけるかは、むしろキリスタンティー特別委員会に示された課題と考えるべきである。

一方、六甲部や瀬戸山陰部のキリスタン会員の割合は40%を超える。地域のキリスタ教会コミュニティーを介したEMC活動が行われてきた経緯があるのであろう。各クラブの団結力は強く、キリスタンティー理解の面では理想的な環境と思われるが、多様な会員の確保の努力も求められよう。

### 2) キリスタンティー理解のための各クラブの取り組み

多くのクラブで、キリスタン理解の取り組みが行われていた。ワイズの十右にキリスタンティーがあることは明白ではあるが、キリスタン理解の内容、信仰的背景・宗派の違いもあり、デリケートな部分があることを配慮せねばならない。ノンキリスタン会員にとっては苦痛と感ぜない範囲でキリスタンに触れる機会を作るべきであり、ブリテンへの聖句の掲載や、開会祈禱または食前感謝など工夫を凝らした個々のクラブの取り組みに期待したい。

一つのクラブで、宗教的な雰囲気や過度にならないようにする配慮から、ブリテンへの聖句記載や食前感謝などを取りやめているところがあった。以前に逆の事態によって会員のドロップアウトがあったことへの反省から、このような対策が行われてきたと思われるが、ワイズメンズクラブの基盤にキリスタンの教えがあることを考えると、「鼻に懲りてなますを吹く」の感も否めない。しか

しながら、各クラブがそれぞれの歴史と独自の考えを持つことを尊重すべきであることは言うまでもない。

### 3) キリスタンティー特別委員会への要望

キリスタンティー特別委員会への期待の中で、「東日本区との連動」があった。東西に分かれる前の日本区にはキリスタンティー特別委員会はなかった。東西に分かれ14年経過した現在、改めて東日本区の現状を知り理解した上で意見交換から始め、協力できることを模索したい。

YMCA職員へのキリスタンティー理解に関する働きかけは、基本的にYMCAスタッフ、とりわけ総主事の役割になるであろう。ワイズ活動に熱心なワイズメンはYMCA活動に理解が深い。そのようなワイズメンの働きを見ながら育ていくYMCAスタッフが多いことは喜ばしいことである。YMCA職員すべてがキリスタンではないが、制度上主事以上の職員はキリスタンである。ノンキリスタンのYMCA職員が、キリスタン職員の仕事への取り組みや、ワイズメンズクラブメンバーやそれ以外のYMCAレイバソンとの関わりを間近に見ることで、キリスタンとしての「人」を観察できよう。一方、ワイズメンにとっても、YMCAでの会議や行事の際に通常行われている祈禱、聖書拝読、讃美歌斉唱などのキリスタン慣習と接点を持つことは、ワイズメンのYMCA理解やキリスタンティー理解に大きな後押しになる。

リーダーシップ・デベロップメント(LD)委員会が企画運営するキリスタン理解に関する講義は、次期役員研修会と次期会長・主査研修会の2回である。いずれの研修会でも多くの場合初心者対象とキリスタン者対象の2グループに分けての講座を担当してきた。殊に初心者対象の講座では、ワイズ運動の基盤にあるキリスタンは西洋文化の理解にも役立つことや、先輩ワイズメンのキリスタン理解やキリスタンに対峙する態度について、ワイズ読本やワイズ必携などのテキストを使用して説明してきた。この際、すべての宗教に対する配慮と尊敬の念を忘れないことや、ワイズに入会するとキリスタンに触れる機会があるという紹介をすることから、講義をスタートするように心がけてきたつもりである。クラブや部からキリスタンティー特別委員会や委員へキリスタン理解のための講演を依頼されることがあるが、ノンキリスタンのメンバーやワイズメンズクラブとの接点が始まるビジターにも受け入れやすい内容にするように配慮すべきであろう。

「聖句の解説」や「祈禱ハンドブック」は以前当委員会で作成したことがある。聖句の解説は聖職者でないとは困難であるが、少なくともどのような例え・内容の聖句であり、どのような時に掲載されるとタイムリーであるかなどを紹介することは可能である。ブリテン掲載の「聖句」を選択するための資料としても利用できるだろう。

食前感謝をメンバーの輪番制で行っているクラブでは、食前

の祈りは「いただきます」か「アーメン」で終わるといふ。幼稚園や小学校の頃、「お父さん、お母さん、お百姓さんありがとうございます。感謝していただきます。」を食前感謝として口に出し食事を始めた記憶のあるメンバーもあるだろう。例会の食前感謝では、無事に過ぎたひと月と例会に集うことができた感謝を、神にイエス・キリストの名を通して捧げている。食前感謝の文言にも宗教臭さを感じて拒否反応を表すノンクリスチャンのメンバーやビジターへの配慮も必要であろう。祈りはワイズのアイデンティティーを示す大切なものであるが、祈りの前に「目を閉じ祈りの時を持っていただくことを願います」と一言が必要であろう。

会員を増やすのにキリスト教が邪魔になるというキリスト教はどんな事柄だったのであろうか？ ワイズメンズクラブがキリスト教によって、どれだけ世界と呼応できる良い物を受け継いでいるかという、プラスの部分に分かってもらえるよう努めたい。どの様に素晴らしいものでも、押しつけてメンバーが不自由さを感じる事が無いように、柔軟な「方法論」を開拓しなければならないであろう。

キリスト教の精神(愛に根ざした生き方、方針)は大切であるが、あまりにも教会的なやりかたをワイズの活動・行事に適用するのは適切でないと考える。YMCAも同様にワイズメンズクラブは、伝道の働きを持つ教会ではなくキリスト教に触れることができることであることを、クリスチャンのメンバーが理解すべきであろうと考える。神棚や仏壇のある日本の家屋に例えるならば、玄関から入って神棚・仏壇にお参りするのではなく、縁側に座り家の中の神棚や・仏壇の様子に分かってもらう縁側の役目をワイズやYMCAが果たしていると考えられないであろうか。

#### 4)クリスチャニティー特別委員会の今後の在り方について

クリスチャニティー特別委員会に託された使命は、キリスト教をワイズの文化としてメンバーに受け入れてもらうことにある。これは、2004年3月に発表した「ワイズメンズクラブにおける「キリスト教」理解についての指針」(参考2)に明記してある。今回のアンケートにおける本委員会への要望・意見は、クリスチャンメンバーから寄せられたものが多かった。ノンクリスチャンメンバーへの配慮を忘れず、各クラブの運営に役立つ働きを第一に考えたうえで要望・意見に応えるべきであろう。ブリテン掲載用の聖句の紹介、祈祷ハンドブック、キリスト教の行事紹介など、西日本区ホームページにクリスチャニティー特別委員会のスペースを設け、各クラブに利用活用してもらうようにすることも考えていきたい。

#### 謝 辞

この報告は、クリスチャニティー特別委員会にとってはワイズメンズクラブ西日本区のキリスト教理解にどのように貢献すべきかを知る財産である。本アンケートに協力いただいた、2009～2010年度の各クラブ会長に感謝申し上げたい。また2009～

2010年期仁科保雄理事および役員の皆様にご挨拶申し上げます。この報告を、2011年6月6日召天されたクリスチャニティー特別委員会直前委員長長井潤ワイズに捧げる。

表1 クリスチャニティー特別委員会による各クラブへのアンケート調査

1. クラブ名
2. 所属部
3. 2011年1月1日(後期半年報に記載された数値)現在の在籍会員数は何名ですか?(広義・功労会員を含む)
  - 連絡主事を含めて 名
  - 連絡主事を除くと 名
4. 3の中でキリスト者の人数(ただし連絡主事を除く)
5. 牧師、伝道師、神父など教職者、クラブチャプレンがクラブにおられますか?
6. 例会の時に実施していることがあれば○で囲んでください(定期、不定期に拘らず)
  - a. 開会祈祷 b. 食前感謝 c. 聖書朗読 d. 讃美歌斉唱(ワイズソングを除く) e. 主の祈り f. 聖書の勉強
  - g. その他( )
7. ブリテンに掲載していることがあれば○で囲んでください
  - a. 聖句(聖書の箇所を記載) b. 聖句の解説 c. 讃美歌掲載(ワイズソングを除く) d. 主の祈り
  - e. その他( )
8. 特にキリスト教に関して実施していることがあれば○で囲んでください
  - a. クリスマス例会 b. イースター例会 c. 聖書の勉強
  - d. 讃美歌練習 e. その他( )
8. クリスチャニティー特別委員会への要望があればご記入ください。

表2 3つの年度における各部のクリスチャン会員の割合(%)

|        | 中部      | びわこ部   | 京都部  | 阪和     | 中西部    | 中国部    |        |        | 九州部    |
|--------|---------|--------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|        |         |        |      |        |        | 六甲     | 瀬戸山陰   | 西中国    |        |
| 1998年度 | 38%     | 12     | 4    | 32     | 26     | 34     |        |        | 26     |
| 2004年度 | 35%     | 17     | 6    | 34     | 34     | 46     | 43     | 18     | 27     |
| 2010年度 | 32(35)% | 14(18) | 4(8) | 29(33) | 33(37) | 49(52) | 44(46) | 17(23) | 21(25) |

1998年度、2004年度は、対象にYMCA連絡主事を含んでいたか否かが不明。

2010年度は、( )内にYMCA連絡主事を含むデータを記載。

参考1:クラブスタートが強化メンバーのみで発足、その後会員増に際し弊害を感じたようで敢えてキリスト教色を消そうとしてきた歴史がある。



参考2:ワイズメンズクラブにおける「キリスト教」理解についての指針

ワイズメンズクラブは、あらゆる信条信仰の人がより良い世界を築くために、互いに尊敬と愛情をもって活動する組織です。この国際的な組織の活動の基盤をなすのは「イエス・キリストの教え」であります。

理解しなければならないことは、ワイズメンズクラブにおける「イエス・キリストの教え」とは、西日本区定款にあるように「イエス・キリストが示された愛と奉仕の実践を目指す」ということであって、決して信仰や教会生活を共用するものではないということです。

ですから、ワイズメンズクラブに入会するということは、そのことによって全てのメンバーが「イエス・キリストの教え」を知る機会を与えられるということでもあります。

国際憲法1条1項の「イエス・キリストの教えに基づき」というのは、クラブメンバーがイエス・キリストの教えられたことを知り、その教えを受け入れることによって、そのことが、クラブ運営やメンバー一人一人の個人的な生活の手引きになるということです。

以下のことはキリストの教え、あるいはキリスト教とどう関わりを持つことができるかという示唆になるものです。

- ①毎月のプリテンに聖書の言葉を掲載すること。
- ②キリスト教理解のために、プリテンに聖書の言葉の説明開欄を設けること
- ③クラブ例会の際には聖書の言葉を読み、また例会での食事の前には、友との交わりと健康と食事を与えられていることへの感謝を祈ること。
- ④クリスマスのようなキリスト教に関わる行事には、家族や友人と参加すること。
- ⑤「イエス・キリストの教えに基づき」ということを理解するために、少なくとも一年に一度は特別なプログラムを持つこと。

上に述べたことは、既に大部分のクラブで実施されていることと思います。上の事柄を実行に移そうとする時心がけなければならないことは、わかりやすい平易な言葉を用いることで、聖書で語られている意味を理解しやすくすることです。そうすることで宗教的な障壁を低くすることになります。

私たちはいろいろな宗教の中で生活しています。だからいろいろな宗教に対して寛容でなければなりません。ですから、宗教観で対話することは良いことですし、また大切なことでもあります。

2004. 3. 西日本区クリスチャニティー特別委員会



## ワイズの発展を願って 発行

区報編集委員長 三浦 克文  
(岡山)

まだ、半期近くある1月に、次期に向かい西日本区次期役員研修会が開催されます。従って現実的には、各部会が終わった頃から次期へ準備が始まります。区報編集委員会は当該年度の理事方針の意図を汲みながら、役員皆様へ原稿依頼と掲載内容の計画を立てています。編集内容について過去の反省、現状や将来への展望を考えながら、各種活動記録とともに会員皆様にお伝えしたい事、ワイズ関連関係ニュースの原稿を依頼し、掲載しています。

委員会活動としては2011 - 2012年度に向かい、1月の次期役員研修会で短時間ではありましたが、主に原稿の執筆者となります役員皆様に区報原稿について説明させていただきました。

また、7月11日(土)、第1回役員会開催の前に区報編集委員会を開き、区報編集内容について皆さまから貴重なご意見をいただきました。お忙しい中、浅岡徹夫理事、成瀬晃三次期理事、仁科保雄直前理事、坂井繁書記、三原茂靖会計、安田博彦事務局長、大槻信二ヒストリアン、森本榮三委員、蔵知武委員、三浦克文委員長がご参加くださいました。



今後の掲載内容はワイズガム発展のためをより重視し、ワイズ以外の方々にもワイズ活動・運動をPR出来るように考える。東日本大震災救援・復興活動の現状と情報、クラブ活動、周年記念例会、クラブチャーター、国際表彰やメンバー活動。より深くYMCAを理解できるようにYMCA同盟や都市YMCAのニュースを掲載。その他トピックス、コラムなど編集委員会としては忙しくなるご提案をいただきました。実現するためには情報収集が重要なポイントとなります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

# 西日本区第1回準備役員会議事録

開催日 2011年4月9日(土)13:00～10日(日)12:00

会場 ホテルクライン新大阪

出席者<常任役員>

理事 浅岡徹夫、直前理事 仁科保雄(第3回役員会兼務)、

次期理事 成瀬晃三、書記 坂井繁、会計 三原茂靖

<部長>

中部部長 長谷川和宏、びわこ部部長 一井伸介、

京都部部長 前 登、阪和部部長 松本三枝子、

中西部部長 清水誠治郎、六甲部部長 森 紘一、

瀬戸山陰部部長 蔵知 武、西中国部部長 谷本秀康、

九州部部長 中堀清哲

<事業主任>

Yサ・ユース 藤川 洋、地域奉仕・環境 戸所岩雄、

EMC 大岩英人、ファンド 三牧 勉、交流 廣瀬一雄、

メネット 大澤玲子

<監事>

行政 鈴木誠也(第3回役員会兼務)、財政 佐藤典子

<理事事務局>

事務局長 安田博彦、局員 滝本英子、横井幹彦

<事務所>北村久美子(第3回役員会兼務)

<連絡主事>光永尚生(第3回役員会兼務)

<陪席>

次期西日本区書記 平野実郎(第3回役員会兼務)、

次期西日本区会計 渡辺真悟、

次期西日本区理事事務局員 荒川恭次

4月9日(土)13:00より2010-2011年度第3回役員会陪席

16:40 書記坂井繁の司会・進行により第1回準備役員会開催

1、挨拶 理事 浅岡徹夫

2、出席者確認 議決権保有者 21名中19名出席(うち委任状1名)役員会成立

議長 理事 浅岡徹夫

司会 書記 坂井 繁

【第1号議案】2011-2012年度 西日本区役員会等の日程について

議案提案者 書記 坂井 繁

役員出席義務のある行事日程の確認を求める件 確認

【第2号議案】2011-2012年度常置委員会・特別委員会・専任委員委員長・委員選任について

議案提案者 理事 浅岡徹夫

常置委員会、特別委員会、専任委員の委員長、委員を選任し、承認を求める。

物品サービス委員会は本日の第3回役員会にて廃止承認のため、本議案書には記載していない。 承認

【第3号議案】ロースター発行部数及び予算承認の件

議案提案者 書記 坂井 繁

発行部数を1850部とする。費用は1部1,575円。価格は1部1,900円で販売。

ロースターの購入については必ずしも全員の購入義務はない。

承認

【第4号議案】2011-2012年度交通費支給基準について

議案提案者 会計 三原茂靖

交通費支給については、従来通り70%とする件 承認

【第5号議案】2011-2012年度 予算案承認の件

議案提案者 会計 三原 茂靖

6月開催代議員会に上程する次期予算について、承認を求める。

Yサ事業費支出予算が収入より多いのは、本会計予算より直接支出するものがあるためです。1500円/人は義務的な会費としてではなく献金としてお願いしている。ロールバックマラリヤは個人献金で行う。 承認

【第6号議案】EMC調査集計表の形式変更

議案提案者 瀬戸山陰部部長 蔵知 武

EMC調査集計表に、前月の出席率の変更報告の表を追加する件

大岩英人 EMC事業主任よりEMC調査集計表を改訂した場合の例が提示された。 承認

【第7号議案】メネット国内プロジェクト内容変更の件

議案提案者 メネット事業主任 大澤玲子

東日本大震災において被災した、子供達のサポートをし、心のケアをするプログラム及び、西日本地区YMCAリーダーたちの派遣費用の支援に変更する件

国内プロジェクトを「東日本大震災支援」に切り替える。 承認

4月10日 9:00

出席者 同前日

部長代理 瀬戸山陰部書記 三浦克文

【第8号議案】東日本大震災で被災された方々を継続的に支援するための献金事業について

議案提案者 理事 浅岡徹夫

西日本区として今後継続的に被災者を支援するために「東日

本大震災復興支援献金」として年間目標 200 万円の献金事業を開始する件 承認

【第 9 号議案】地域奉仕・環境事業に関する西日本区各クラブの 3 ケ年の事業報告集作成のためのアンケート実施の件

議案提案者 地域奉仕・環境事業主任 戸所岩雄  
次期部長・主査を通じて各クラブへのアンケートを実施する。

次期理事浅岡徹夫、理事仁科保雄の連名で依頼、5/20 発信、6/8 メ切。 承認

協議事項

【第 1 号協議】各部、各クラブにおける平均年齢調査依頼の件  
議案提案者 EMC 主任事業 大岩英人

2006～2007 年度時点・現在の時点(当該年度)での在籍数及び平均年齢の調査を行う件

調査対象時期 2006.7.1 と 2011.7.1 にて各クラブに調査を依頼。

【第 2 号協議】 CS 資金申請メ切時期の設定

協議提案者 地域奉仕・環境事業主任 戸所岩雄

CS 資金申請メ切時期を 1 回目、2011 年 7 月 20 日 2 回目、2011 年 12 月 10 日とする。

【第 3 号協議】ロールバックマラリアへの支援のあり方について  
協議提案者 地域奉仕・環境事業主任 戸所岩雄  
ロールバックマラリア献金方法については趣旨徹底の上、個人献金で願います。

<その他諸報告>

EMC 主任 大岩英人 各部の EMC シンポジウムを期間の初めに計画してほしい。

事務局長 安田博彦 ①メネット事業を除く事業委員会・主査会の日程、会場:2011 年 6 月 26 日 11:00～13:00～新大阪丸ビル、②ロースター原稿締切厳守、③メール委員の登録状況、④次期準備役委員会の日程

## 西日本区第 2 回準備役員会議事録

開催日時 2011 年 6 月 11 日(土)9:30～10:30

会場 京都市国際交流会館

出席者

<常任役員>

理事 浅岡徹夫、次期理事 成瀬晃三、書記 坂井 繁、  
会計 三原茂靖

<部長>

中部部長 長谷川和宏、びわこ部部長 一井伸介、  
京都部部長 前 登、阪和部部長 松本三枝子、  
中西部部長 清水誠治郎、六甲部部長 森 紘一、  
瀬戸山陰部部長 蔵知 武、西中国部部長 谷本秀康、  
九州部部長 中堀清哲、

<事業主任>

Yサ・ユース 藤川洋、地域奉仕・環境 戸所岩雄、  
EMC 大岩英人、ファンド 三牧 勉、交流 廣瀬一雄、  
広報 辻野啓一

<監事> 財政 佐藤典子

<委員長>

ワイズリーダーシップ開発 藤井久子、  
組織検討・安全対策 乙坂優次、  
ワイズメンズワールド翻訳編集 野村秋博

<理事事務局>事務局長 安田博彦、  
事務局員 滝本英子、横井幹彦

<陪席>次期西日本区会計 渡辺真悟 谷川 修、次期理事事務局長 荒川恭次、次期理事事務局員

開会 9:30

司会 書記 坂井繁

議長 理事 浅岡徹夫

開会挨拶 理事 浅岡徹夫

出席確認 書記 坂井繁

議決権保有者 21 名中 19 名出席(うち委任状 1 名)会議は成立

議案協議

【第 1 号議案】第 1 回準備役員会 議事録承認の件

議案提案者 書記 坂井 繁

第 1 回準備役員会 議事録承認の件

4 号議案交通費支給基準「特急の指定席」については原則は自由席とする。例外として(指定席を取らざるを得ない場合)は理事(または会計)が判断して認める。承認

【第 2 号議案】2011-2012 年度常置委員会・特別委員会・専任委員委員長・委員選任について

議案提案者 理事 浅岡徹夫

第 1 回準備委員会第 2 号議案において、追認された常置委員会、特別委員会、専任委員の委員長・委員の委員会構成

委員推薦並びに、委員長選出を頂き、理事としての承認権のもと、次期の委員会構成を決定した。役員の皆様の追認をお願いする。承認

【第3号議案】第16回西日本区大会の件

議案提案者 次期理事 成瀬晃三

第16回西日本区大会を2013年6月1日・2日、花水木(三重県桑名市長島)にて開催する。ホストクラブは四日市クラブ及び名古屋クラブ、コホストクラブは名古屋東海クラブ、名古屋南山クラブ、名古屋プラザクラブ、名古屋グランパスクラブ、津クラブにお願いする。承認

【第4号議案】東日本大震災復興支援のための検討委員会について

議案提案者 理事 浅岡徹夫  
委員長 理事 浅岡徹夫、副委員長 直前理事 仁科保雄、次期理事 成瀬晃三、地域奉仕・環境事業主任 戸所岩雄、委員:書記 坂井 繁、会計 三原茂靖、事務局長 安田博彦 計7名

定例会議は年4回の役員会の時期に開催予定。臨時会議は随時とし、メール等での会議も可能とする。承認

【第5号議案】第15回西日本区大会開催地の件

議案提案者 理事 浅岡徹夫

議案内容 第1回役員会にて開催地が未定であったので、追認議案とする。

開催地 滋賀県立文化産業交流会館、長浜ロイヤルホテル

承認

10:10 議案審議終了

<連絡事項>

書記 坂井 繁

BF代表(インド Mr.P.V.KURIAN)の受け入れ計画、TC鉄谷作成の計画書配布。各担当部のご協力をお願いしたい。

<事業主任報告>地域奉仕・環境 戸所岩雄、EMC 大岩英人、交流主任 廣瀬一雄

<部長報告>中部部長 長谷川和宏、阪和部部長 松本三枝子、京都部部長 前 登、六甲部部長 森 紘一

<事務局連絡>

①理事通信は毎月1日付けで発行予定。原稿締切は前月の20日、受付は安田博彦事務局長とする。

②区ホームページは随時受付、窓口は事務局長とし、掲載は情報委員会に依頼。

③前期半年報については既に案内済であるが、締切7月10日厳守。部長様のフォローをお願いする。

<監事講評>

佐藤典子財政監事

主任・部長の連絡が取れてないことが過去にあった。連絡を密に取ってください。理事通信は月末に発行したほうが良い。

事務局了承

閉会挨拶 理事 浅岡徹夫

<連絡事項>

書記 坂井繁

代議員会での着席場所、役員紹介について、区大会での理事引き継ぎ式・役員引き継ぎの要領説明



2011年7月16日(土)西日本区第1回役員会



## 2011～2012年度 西日本区強調月間リスト

| 月   | 活動                              | ポイント                                                                                             |
|-----|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7月  | Kick-off<br>EMC-C               | メンバー一人ひとりの小さな一歩は、クラブの大きな一歩となるでしょう。<br>新しい自分の為、未来のクラブの為、まず一歩踏み出しましょう！！<br><br>大岩 英人EMC事業主任        |
| 8月  | Youth<br>Activities             | ユースと共にワイズの世界を拓きましょう！<br><br>藤川 洋Yサ・ユース事業主任                                                       |
| 9月  | Menette                         | 各クラブでメネット例会を企画し、国内プロジェクトへの理解を深めましょう。<br><br>大澤 玲子メネット事業主任                                        |
| 10月 | BF                              | 使用済み切手は世界のワイズメンの理解と交流へ導く扉です。「当たり前のことを当たり前に行う」ことが目標達成の一番の近道です。<br><br>三牧 勉ファンド事業主任                |
| 11月 | Public<br>Relations<br>Wellness | ワイズデーはワイズ広報デー、ワイズデーでの催しや事業を積極的に外部に広報しましょう。できればワイズ以外の方も参加できるイベントを企画しましょう。<br><br>辻野 啓一広報事業委員      |
| 12月 | EMC-M                           | 親睦のエネルギーを放出し、限りない奉仕をしよう。<br>西日本区2000名に向かって大きく前進！！<br><br>大岩 英人EMC事業主任                            |
| 1月  | IBC・DBC                         | 出逢い、ふれあい、交流でワイズの繋がりを深めワイズ活動の活性化を進めましょう。<br><br>廣瀬 一雄交流事業主任                                       |
| 2月  | TOF・CS・FF                       | メンバー全てがTOF・CS・FF資金のシステム、意義、活用方法を充分学習することにより、資金の効果的活用を計り、ワイズ活動を活性化しましょう。」<br><br>戸所 岩雄地域奉仕・環境事業主任 |
| 3月  | EF・JWF                          | 個人や家族、またクラブの周年などを記念して、ワイズダムの発展のため、感謝の気持ちを献金という形であらわしましょう。<br><br>三牧 勉ファンド事業主任                    |
| 4月  | YMCAサービス<br>ASF                 | YMCAサービスはワイズ活動の根幹です。より一層のサポート体制の向上に努めましょう！<br><br>藤川 洋Yサ・ユース事業主任                                 |
| 5月  | LT<br>leader-training           | クラブの例会や奉仕活動に積極的に参画し、ワイズ仲間の友情とチームワークを育み、クラブの活性化と会員相互の研鑽を目指そう！<br><br>浅岡 徹夫理事                      |
| 6月  | 評価・計画                           | 今年度の目標はどこまでやれたか、楽しいクラブ活動や充実した奉仕活動が行えたか、会員増強は図れたか、評価と反省をしっかりと次に繋げよう。<br><br>浅岡 徹夫理事               |
| 通年  | PR                              | ワイズを知らせよう、まず近くから次に広く。YMCAとの事業や地域奉仕活動などを外部に広報しましょう。<br><br>辻野 啓一広報事業委員                            |

## 西日本区事務所及び理事事務局業務役割

| 西日本区事務所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 西日本区理事事務局                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>〒532-0012<br/>           大阪市淀川区木川東4-5-4 (榊新上野ビル3F)<br/>           TEL 06-4805-0570 FAX 06-4805-0571<br/>           E-mail: info@ys-west.or.jp</p> <p>事務所長 浅岡 徹夫<br/>           担当職員 北村久美子</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>〒523-0032<br/>           近江八幡市白鳥町135-10<br/>           TEL 0748-32-0932 FAX 0748-32-0932<br/>           E-mail:<br/>           hama510_tori15_shira135@maia.eonet.ne.jp</p> <p>理事 浅岡 徹夫 書記 坂井 繁<br/>           会計 三原 茂靖 事務局長 安田 博彦</p>                                                                                                                                                                                                   |
| <p><b>西日本区関係</b></p> <p>1. 会計事務</p> <p>①区費等(前納・後納)の請求及び受領</p> <p>②入会金・加盟金の請求および受領と関係物品の発送</p> <p>③献金・その他の受領</p> <p>④経常会計経費および特別会計の出納</p> <p>⑤毎月の経常会計および特別会計の報告</p> <p>⑥年度会計報告書作成補佐</p> <p>⑦国際会費他区別会計の送金</p> <p>⑧その他西日本区会計補佐</p> <p>2. 区財産の管理保管</p> <p>3. 会員異動報告書の受理</p> <p>4. 国際半年報の報告および加盟に関する手続き</p> <p>5. 海外ワイズメンの招請手続き</p> <p>6. 国際・アジア地域・他区との連絡補佐</p> <p>7. 西日本区役員会、代議員会等諸会議の運営補佐</p> <p>8. 国際大会、アジア地域大会、西日本区大会等の運営補佐</p> <p><b>文献保存委員会、ヒストリアン関係</b></p> <p>1. 文献資料の発行、収集、管理保存(文献保存委員会と共に)</p> <p>2. 重要な資料の永久保存(文献保存委員会と共に)</p> <p>3. 海外文献等の翻訳補佐</p> <p><b>物品サービス事業委員会関係</b></p> <p>1. 物品製作、販売、管理保管を補佐</p> <p>2. 物品委員会の運営補佐</p> <p>3. 会計業務および年度会計報告作成補佐</p> | <p>1. 年間方針・計画の作成、一般行政の執行、年度報告書の作成</p> <p>2. 年間予算案の作成、財政の執行、年度会計報告書の作成</p> <p>3. 新クラブ加盟金額決定</p> <p>4. HANDBOOK &amp; MEMBERSHIP ROSTERの発行</p> <p>5. 半年報のとりまとめ</p> <p>6. 西日本区報の発行(区報編集委員会と共に)</p> <p>7. 理事通信の発行</p> <p>8. 経常会計、特別会計の支出通知</p> <p>9. 諸文書の整備保管と後任者への引継ぎ</p> <p>10. 役員会、常任役員会、代議員会の準備、招集、運営、記録</p> <p>11. 国際・アジア地域・他区との連絡通信</p> <p>12. 海外文献等の翻訳</p> <p>13. 国際大会、アジア地域大会への参加促進</p> <p>14. 西日本区大会の調整打ち合わせ</p> <p>15. 西日本区事務所の運営</p> |

# 西日本区現勢

2011年7月1日現在

| 部    | クラブ名     | 2011.7.1 | 2011.1.1 | 2010.7.1 | 増減  |
|------|----------|----------|----------|----------|-----|
| 中部   | 金沢       | 10       | 10       | 10       | 0   |
|      | 名古屋      | 28       | 28       | 28       | 0   |
|      | 名古屋東海    | 22       | 23       | 23       | -1  |
|      | 名古屋南山    | 9        | 9        | 8        | 1   |
|      | 四日市      | 27       | 31       | 23       | 4   |
|      | 名古屋ブラザ   | 8        | 9        | 9        | -1  |
|      | 名古屋グランパス | 16       | 15       | 15       | 1   |
|      | 津        | 4        | 4        | 4        | 0   |
|      | 金沢犀川     | 6        | 7        | 7        | -1  |
| 小計   | 9        | 130      | 136      | 127      | 3   |
| びわこ部 | 近江八幡     | 22       | 22       | 23       | -1  |
|      | 彦根       | 12       | 12       | 13       | -1  |
|      | 彦根シャトー   | 29       | 30       | 30       | -1  |
|      | 長浜       | 44       | 48       | 46       | -2  |
|      | 草津       | 17       | 17       | 18       | -1  |
|      | 滋賀蒲生野    | 22       | 23       | 22       | 0   |
| 大津   | 11       | 7        | 7        | 4        |     |
| 小計   | 7        | 157      | 159      | 159      | -2  |
| 京都部  | 京都       | 33       | 33       | 33       | 0   |
|      | 福知山      | 8        | 8        | 8        | 0   |
|      | 京都パレス    | 65       | 64       | 56       | 9   |
|      | 京都ウエスト   | 24       | 25       | 26       | -2  |
|      | 京都めいぶる   | 27       | 26       | 28       | -1  |
|      | 京都キャピタル  | 38       | 35       | 35       | 3   |
|      | 京都プリンス   | 14       | 15       | 14       | 0   |
|      | 京都センチュリー | 10       | 11       | 11       | -1  |
|      | 京都ウイング   | 39       | 41       | 39       | 0   |
|      | 京都洛中     | 18       | 18       | 18       | 0   |
|      | 京都エイブル   | 15       | 15       | 16       | -1  |
|      | 京都グローバル  | 55       | 55       | 55       | 0   |
|      | 京都みやび    | 20       | 16       | 13       | 7   |
|      | 京都トップス   | 34       | 36       | 29       | 5   |
|      | 京都トゥービー  | 26       | 27       | 29       | -3  |
|      | 京都東稜     | 17       | 15       | 15       | 2   |
|      | 京都ウエル    | 6        | 8        | 8        | -2  |
|      | 京都ZERO   | 24       | 27       | -        | 24  |
| 小計   | 18       | 473      | 472      | 433      | 40  |
| 阪和部  | 田辺       | 7        | 7        | 7        | 0   |
|      | 和歌山      | 23       | 24       | 21       | 2   |
|      | 奈良       | 23       | 24       | 23       | 0   |
|      | 大阪サウス    | 28       | 28       | 28       | 0   |
|      | 大阪堺      | 7        | 7        | 7        | 0   |
|      | 大阪河内     | 21       | 20       | 21       | 0   |
|      | 大阪長野     | 8        | 7        | 7        | 1   |
|      | 大阪泉北     | 15       | 17       | 17       | -2  |
|      | 和歌山紀の川   | 14       | 19       | 19       | -5  |
|      | 小計       | 9        | 146      | 153      | 150 |

| 部     | クラブ名     | 2011.7.1 | 2011.1.1 | 2010.7.1 | 増減 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----|
| 中西部   | 大阪       | 18       | 20       | 21       | -3 |
|       | 大阪土佐堀    | 20       | 22       | 20       | 0  |
|       | 大阪豊中     | 9        | 10       | 10       | -1 |
|       | 大阪千里     | 5        | 6        | 6        | -1 |
|       | 大阪高槻     | 23       | 22       | 20       | 3  |
|       | 大阪センテニアル | 22       | 20       | 19       | 3  |
|       | 大阪西      | 11       | 14       | 15       | -4 |
|       | 大阪茨木     | 17       | 17       | 16       | 1  |
|       | 大阪セントラル  | 10       | 10       | 10       | 0  |
|       | 大阪なかのしま  | 22       | 24       | 24       | -2 |
|       | 大阪ヴェクセル  | 9        | 9        | 11       | -2 |
| 小計    | 11       | 166      | 174      | 172      | -6 |
| 六甲部   | 神戸戸      | 21       | 21       | 21       | 0  |
|       | 西宮       | 22       | 19       | 19       | 3  |
|       | 神戸西      | 10       | 11       | 11       | -1 |
|       | 神戸ポート    | 18       | 15       | 16       | 2  |
|       | 宝塚       | 20       | 21       | 21       | -1 |
|       | さんだ      | 17       | 18       | 19       | -2 |
|       | 神戸学園都市   | 18       | 18       | 18       | 0  |
|       | 芦屋       | 17       | 17       | 17       | 0  |
| 小計    | 8        | 143      | 140      | 142      | -2 |
| 瀬戸山陰部 | 姫路       | 10       | 12       | 12       | -2 |
|       | 岡山山取     | 31       | 30       | 30       | 1  |
|       | 鳥取       | 14       | 13       | 11       | 3  |
|       | 姫路グローバル  | 16       | 15       | 15       | 1  |
|       | 米子       | 15       | 14       | 13       | 2  |
| 小計    | 5        | 86       | 84       | 81       | 5  |
| 西中国部  | 広島島      | 21       | 20       | 19       | 2  |
|       | 福山       | 6        | 8        | 8        | -2 |
|       | 呉        | 8        | 10       | 8        | 0  |
|       | 東広島      | 10       | 11       | 11       | -1 |
|       | 岩国       | 13       | 26       | 15       | -2 |
|       | 広島西      | 11       | 9        | 11       | 0  |
|       | 岩国みなみ    | 20       | -        | -        | 20 |
| 小計    | 7        | 89       | 84       | 72       | 17 |
| 九州部   | 長崎       | 7        | 8        | 8        | -1 |
|       | 熊本本      | 34       | 34       | 34       | 0  |
|       | 北九州      | 9        | 5        | 5        | 4  |
|       | 福岡中央     | 17       | 17       | 18       | -1 |
|       | 熊本ジェーンズ  | 38       | 38       | 39       | -1 |
|       | 博多オーシャン  | 16       | 16       | 17       | -1 |
|       | 八代       | 7        | 7        | 8        | -1 |
|       | 鹿児島      | 15       | 16       | 15       | 0  |
|       | 大分       | 2        | 2        | 2        | 0  |
|       | 熊本むさし    | 21       | 22       | 23       | -1 |
|       | 熊本みなみ    | 24       | 25       | 26       | -2 |
|       | 宮崎       | 15       | 15       | 15       | 0  |
|       | 熊本ひがし    | 21       | 18       | 19       | 2  |
|       | 阿蘇       | 18       | 21       | 21       | -3 |
|       | 熊本にし     | 30       | 26       | 27       | 3  |
|       | 熊本ヤング    | 14       | 18       | 18       | -4 |
| 小計    | 16       | 288      | 288      | 295      | -7 |
| 合計    | 90       | 1,678    | 1,690    | 1,631    | 47 |

(連絡主事を含み、特別メネットは除く) 増減は前期7月1日との比較

## 編集後記

東日本大震災・津波、原発事故が発生し、人間は自然の脅威の前にはなすべがないことを知らされ、人が築きあげた安全神話が崩れました。しかし、このような日本に世界の各地から「ガンバレ ニッポン」のエールと共に思いがけない国からも、心と支援物資が届いています。私たちは世界中と繋がっていること。国情は違っても、人は思いやりをもって生きていることを改めて知らされました。

今期は日本区が東西に分かれ 15 年の節目になります。西日本区浅岡徹夫理事はワイズの原点である、愛と奉仕で社会に貢献し、理想を目指して変革に挑戦しながら、行動しようと訴えられています。皆様から頂いた区報原稿には各部、各事業においてもワイズの旗のもと、YMCAと共に東日本区大震災復興支援活動をはじめ、諸活動を推し進めようとの気概が表れています。

どのような時も希望を持ち、西日本区から元気を発信し、ワイズ活動を推進できるよう祈りつつ編集いたしました。表紙のデザイン・イラストは毎年のことながら蔵知武編集委員が近江の地をイメージして描いてくださいました。ご協力くださいました皆様に感謝いたします。

### 【区報編集委員会】

|     |              |     |             |
|-----|--------------|-----|-------------|
| 委員長 | 三浦 克文 (岡 山)  | 委 員 | 蔵知 武 (岡 山)  |
| 委 員 | 森本 榮三 (大阪高槻) | 委 員 | 坂井 繁 (近江八幡) |
| 委 員 | 安田 博彦 (近江八幡) |     |             |

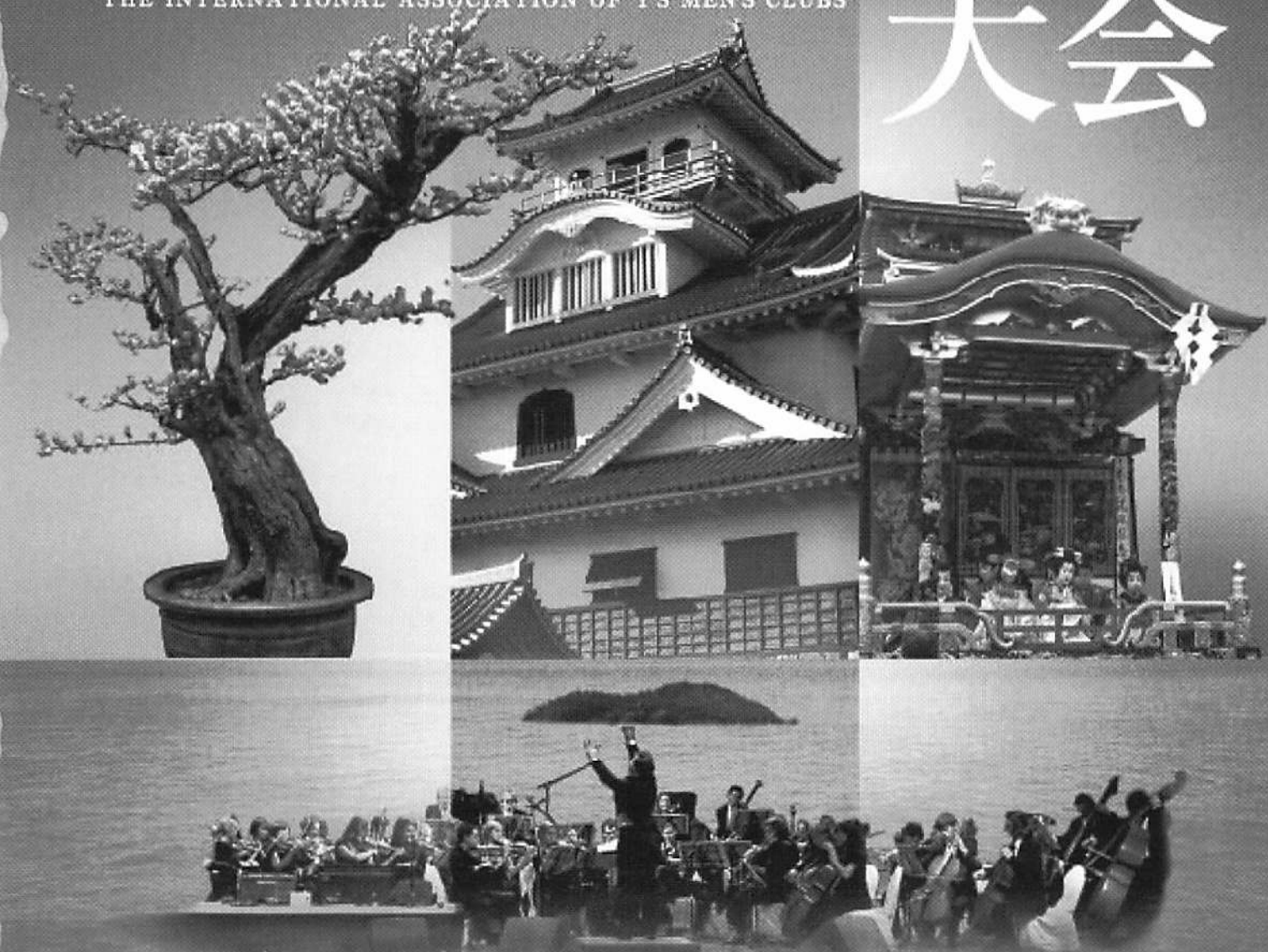


第

ワイズメンズクラブ国際協会

# 15 西日本区大会

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



## 人と人とのシンフォニー

響かそうワイズメン in びわ湖

2012年

6月9日(土)-10日(日)

大会 滋賀県立文化産業交流会館

懇親会 長浜ロイヤルホテル

*in shiga*

ホストクラブ/長浜ワイズメンズクラブ

協力クラブ/近江八幡クラブ・彦根クラブ・彦根シャトークラブ・草津クラブ・滋賀蒲生野クラブ・大津クラブ 協働/滋賀YMCA





もくじ

「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献—理想を目指して変革と行動」……………理事 浅岡 徹夫…………… 1

ごあいさつ

先期は顔を売る期、今期は学び支える期……………次期理事 成瀬 晃三…………… 4

幸多き年度になるよう貢献するために……………直前理事 仁科 保雄…………… 4

びわこの鮎……………書記 坂井 繁…………… 5

私の思いは……………会計 三原 茂靖…………… 5

ワイズライフを楽しもう！そして飛躍を……………東日本区理事 河合 重三…………… 6

クラブ活動の充実を……………行政監事 鈴木 誠也…………… 6

感謝、例会の充実から健全な財政を……………財政監事 佐藤 典子…………… 6

ワイズメンズクラブ国際協会から

国際会長メッセージ……………国際会長 フィン・ペデルセン…………… 7

メッセージ……………アジア会長 ウィッチャン・ブンマーパジョン…………… 8

西日本区ワイズの皆さんへ……………国際書記長 西村 隆夫…………… 8

ユースインターン活動報告……………橋崎 真美…………… 9

日本YMCA同盟から

ワイズとYMCAの協力で東日本大震災を乗り越える……………日本YMCA同盟総主事 島田 茂…………… 10

今こそ「若者には幻を、老人には夢を」～共通の夢を掲げて～……………日本YMCA同盟連絡主事 光永 尚生…………… 10

事業主任の方針

YMCA・ユースに示そうワイズの心……………Yサ・ユース事業主任 藤川 洋…………… 11

奉仕を共に語りアクションへ……………地域奉仕・環境事業主任 戸所 岩雄…………… 12

『へんしん』しよう!! ～2000名達成を目指して～……………EMC事業主任 大岩 英人…………… 12

BFポイントのゼロクラブ 努力と工夫で解消を!……………ファンド事業主任 三牧 勉…………… 13

一期一会で楽しい交流 兄弟クラブになりませんか……………交流事業主任 廣瀬 一雄…………… 14

ワイズスピリットを胸に、クラブリーフレットをポケットに!……………広報事業主任 辻野 啓一…………… 15

メネットの愛で豊かな心を……………メネット事業主任 大澤 玲子…………… 15

部長メッセージ

実感したい「ワイズに入ってよかった!」……………中部部長 長谷川和宏…………… 16

一年間を楽しみます……………びわこ部部長 一井 伸介…………… 17

人の幸せとワイズ活動……………京都部部長 前 登…………… 17

主役はクラブ、部長はみんなの応援団……………阪和部部長 松本三枝子…………… 18

であいで 愛……………中西部部長 清水誠治郎…………… 18

「六甲部200名」を目指して粘り強く頑張ろう……………六甲部部長 森 紘一…………… 19

「プラス1を考えよう!」を進めよう……………瀬戸山陰部部長 蔵知 武…………… 20

ワイズのミッションをパッションを持ってアクションに繋げよう!……………西中国部部長 谷本 秀康…………… 21

物事の「本質」……………九州部部長 中堀 清哲…………… 22

特別寄稿 プライオリティー No1……………元クリスチャニティー委員長 長井 潤…………… 23

常置・特別委員長からのメッセージ

ワイズ活動は自己研鑽から……………ワイズリーダーシップ開発委員長 藤井 久子…………… 24

決意新たに……………組織検討・安全対策委員長 乙坂 優次…………… 24

西日本区15期にあたって……………ヒストリアン・文献保存委員長 大槻 信二…………… 25

JWF新米管理委員長の胸騒ぎ……………JWF管理委員長 柴田 善朗…………… 25

2000推進チームの使命は会員増強ではない!……………西日本区2000推進チーム委員長 高瀬 稔彦…………… 26

事務局長への思い……………理事事務局長 安田 博彦…………… 26

クリスチャニティー特別委員会アンケート報告……………クリスチャニティー特別委員長 田上 正…………… 27

ワイズの発展を願って発行……………区報編集委員長 三浦 克文…………… 30

西日本区第1回準備役員会議事録…………… 31

西日本区第2回準備役員会議事録…………… 32

2011～2012年度西日本区強調月間リスト…………… 34

西日本区事務所及び理事事務局業務役割…………… 35

西日本区現勢…………… 36

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理事事務局 / 〒523-0032 近江八幡市白鳥町135-10 TEL 0748-32-0932 FAX 0748-32-0932  
 E-mail: hama510\_tori15\_shira135@maia.eonet.ne.jp

西日本区事務所 / 〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-5-2棟上野ビル2F TEL 06-4805-0570 FAX 06-4805-0571  
 E-mail: info@ys-west.or.jp